

フォトライフ 四季

カメラのキタムラ フォト ネットワーク
〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-4-1
☎045-476-0777
平成9年12月1日発行
季刊第23号
キタムラホームページ
<http://www.kitamura.co.jp/>

カメラの
キタムラ®

vol.23
WINTER

特集 写真家・丹地敏明氏

“自分流”を貫き、風景との
新たな出逢いに喜びを求める。

「ペット」を撮る 増田勝正氏インタビュー

犬や猫たちの可愛さを伝え、人と動物との絆を育みたい。

日常風景ウォッチング 第二回

「路上観察」の達人 南 伸坊氏インタビュー②

保存版 デジタルカメラ特集

キタムラの撮影ツアーでの作品。トップライトが氷を美しく立体的に見せて輝いていた。富士山に氷を重ねて見ると、雲海を連想させてくれ、その感じをフレーミングした。

■カメラ：ペンタックス645 レンズ：SMC ペンタックスA ★645 300mm F4 ED[iF] 絞り：f32 AE プラス0.3EV補正 フィルム：RDPII CPLフィルター・三脚使用 撮影地：山梨県足和田村・野鳥の森公園



フォトライフ 四季

CONTENTS
Vol. 23
WINTER



雪の撮影は、プラス補正という考え方が一般的だがマイナス補正もある。新雪が積もった朝、斜光線を受けた木の立体感を出すためにマイナス補正した。
■カメラ：ペンタックス645 レンズ：SMCペンタックスA645ズーム45～85mm F4.5 絞り：f32 AE マイナス0.3EV補正 フィルム：RVP CPLフィルター・三脚使用 撮影地：秋田県田沢湖町・田沢湖高原

特集 写真家・丹地敏明氏

“自分流”を貫き、風景との新たな出逢いに喜びを求める。……………2

丹地敏明先生の「日本の冬」撮影アドバイス……………8

写真の楽しみ いっそう広がる 日常風景ウォッチング 第二回

「路上観察の達人」南 伸坊氏②……………10

THE フォトワールド⑪ 「ペット」を撮る 増田勝正氏インタビュー

犬や猫たちの可愛さを伝え、人と動物との絆を育みたい。……………16

保存版 デジタルカメラ特集……………26



「ロングコート・チワワ」最も小さい犬種のしかも仔犬ということで、自分が地面に伏せて撮影した。撮影終了後は背中が痛くて仕方がなかった。
■カメラ：ニコンF4 レンズ：200mm 絞り：f5.6 シャッター速度：1/250 フィルム：RDPⅡ 三脚使用

写真おもしろヒストリー⑮
異端者扱いの苦勞にもめげず、写真術を習得した上野彦馬……………15

新・メーカー探訪 現代銘品カメラ列伝②
キヤノンEOS-1N編……………18

フォトライフ ステップアップレッスン⑪
お正月や成人式に備え、着物撮影のコツを会得しよう。……………20

第5回「チビッコ写真コンテスト」入賞作品発表……………24

読者のページ フォトライフ四季 ふれあい広場……………32

プレゼントが当たる！クロスワードパズル……………32

編集後記……………32

新しい写真の時代へ



APS一眼レフカメラ
VECTIS S-1

アドバンスト・フォト・システム (APS) の先進機能をフル搭載したベクトリスS-1は、これからの時代の超小型一眼レフカメラ。簡単な操作でひとクラス上の高画質な映像が得られます。また、充実のレンズ、アクセサリ群に加え、テレビやパソコンで写真が楽しめるフォトプレーヤーもラインナップ。新しい写真の楽しみ方を提案していきます。ミノルタ ベクトリスS-1誕生。新しい写真の時代がはじまります。

- 旅行などの際の携帯にも便利。高性能を凝縮した超小型・軽量設計。
- フィルムは、ボンと入れるだけのワンタッチローディング。
- 小雨や雪の中でも安心して撮影することができる防滴設計。^{※1}
- 途中で巻き戻したフィルムが再度使えるフィルム途中交換機能。^{※2}
- テレビの大画面やパソコンで写真が鑑賞できるフォトプレーヤー。^{※2}
- 5本のレンズやカメラガード、水中ハウジングなど、アクセサリ群も充実。^{※3}

ベクトリス希望小売価格(税別) ●ベクトリスS-1 Vズーム22-80mm F4.5-5.6付……………¥100,000 ●ベクトリスS-1ボディ(チタンカラー・ブラック)……………¥62,000 ●Vズーム22-80mm F4.5-5.6 (28-100mm※4)……………¥38,000 ●Vズーム28-56mm F4.5-5.6 (35-70mm※4)……………¥20,000 ●Vアポズーム80-240mm F4.5-5.6 (100-300mm※4)……………¥53,000 ●Vズーム56-170mm F4.5-5.6 (70-210mm※4)……………¥29,500 ●Vマクロ50mm F3.5 (63mm※4)……………¥35,000 ●ベクトリスフラッシュSF-1……………¥18,000 ●ベクトリスフォトプレーヤーVP-1……………¥59,800 (リモコン付)
■カタログ請求 住所・氏名・年齢・機種名をご記入のうえ右記まで 〒108 東京都港区高輪2-19-13 (NS高輪ビル) ミノルタカメラ販売株式会社 写真部係 ●ミノルタベクトリスS-1のお問い合わせフリーダイヤル ☎0120-493-881 ●お客様商品相談窓口 ☎(03)5423-7555 ☎(06)271-2641 ※1 JIS保護等級2 (防滴Ⅱ型)相当。※2 ビデオ入力端子付のパソコン、またはビデオキャプチャーボードを装備したパソコン。※3 ベクトリスS-1専用アクセサリ。※4 35mmフィルムに換算した概算焦点距離。※5 1996年10月1日現在。標準ズーム(22-80mm)付、レンズ交換式AF一眼レフカメラにおいて。●Vレフレックス400mm F8 (500mm※4)は今後発売の予定。

(ミノルタから新発売)



VECTIS S-1



グッドデザイン
選定商品



TIPA特別賞
'96-'97受賞

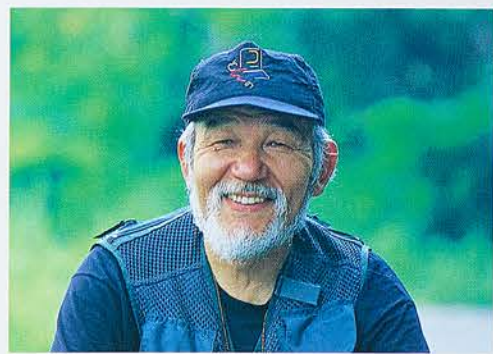
世界最小最軽量^{※5}。ミノルタ ベクトリスS-1誕生。

特集 写真家・丹地敏明氏

”自分流“を貫き、風景との新たな出逢いに喜びを求め。

丹地敏明先生は、出版社の写真部勤務を経てフリーランスとなって以来30年以上にわたり、国内外の各地で精力的な撮影活動が続けられています。先生が手がけられた撮影対象は風景のみならず生活や民家から工芸・職人・刀剣に至るまで幅広く、数々の写真展や写真集により、その個性的な作品を発表されています。また、各地での写真教室やフォトコンテストを通じ、アマチュアカメラマンへの指導にも積極的に取り組んでおられる丹地先生にインタビューを行ない、ご自身の写真に対する考えや、日本の風景に対する写真家としての思いなどを語っていただきました。

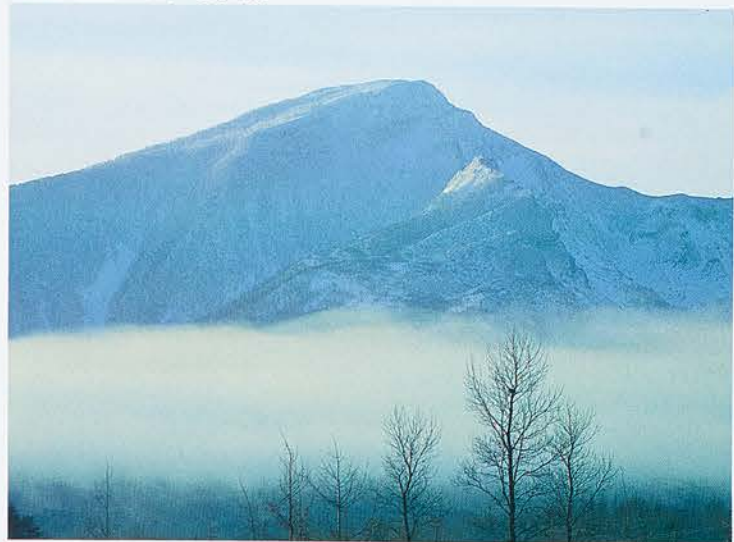
※なお、表紙及び特集ページに掲載した写真は、すべて丹地氏の作品です。



たんじ としあき
1936年広島県生まれ。福山工業高校染学科卒業。出版社の写真部勤務を経て1963年にフリーランスとなる。日本写真家協会会員、日本写真協会会員、日本写真芸術学会会員、フォトパラダイス・アカデミー講師。主な著書・写真集は『沖縄』（主婦と生活社）、『日本のやきもの1 沖縄』（淡文社）、カラーガイド『ローマ』（山と溪谷社）、『森の水音をきく』（世界文化社）、『変幻譚』（芸文社）、『水の調べ』（DDN）など。

小野川湖の日の出を撮影していた。太陽がかなり昇ったところで一息入れるべく、周囲を見渡した。すると、朝日を浴びた磐梯山の山頂と雲海が美しかった。

■カメラ：ペンタックス645 レンズ：SMC ペンタックスA★645 300mm F4 ED(IF) 絞り：f32 AE マイナス0.3EV補正 フィルム：RVP CPLフィルター・三脚使用 撮影地：福島県北塩原村・小野川湖



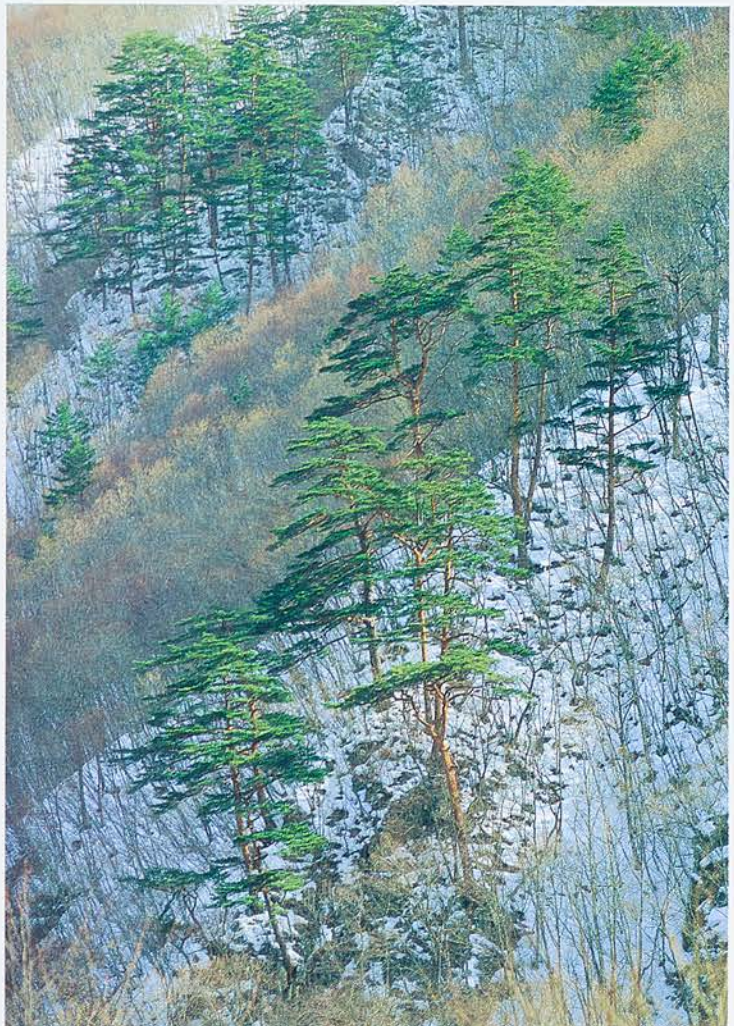
前日見た時は、ダム一面に氷が張っていた。翌日その付近の撮影があったので、少し遠回りだったが立ち寄ってみた。すると、このような光景が展開していた。

■カメラ：ペンタックス645 レンズ：SMC ペンタックスA★645 300mm F4 ED(IF) 絞り：f32 AE マイナス0.3EV補正 フィルム：RVP CPLフィルター・三脚使用 撮影地：茨城県北茨城市・水沼ダム



急峻な斜面に形の良い赤松が点在していた。雪の頃だからこそ赤松が主張しているように感じた。ちょうど夕方の光が当たり、立体的で美しく見えた。

■カメラ：ペンタックス645 レンズ：SMC ペンタックスA★645 300mm F4 ED(IF) 絞り：f32 AE マイナス0.7EV補正 フィルム：RVP CPLフィルター・三脚使用 撮影地：栃木県藤原町・不動滝付近



雪の白さと空の青さはよく似合う色だ。前夜降り積もった雪の重さに耐えている樹々の様子が、青空に映えて美しく感じられた。それを正面からフレーミングした。

■カメラ：ペンタックス645 レンズ：SMC ペンタックスA 645 ズーム45~85mm F4.5 絞り：f32 AE フィルム：RVP CPLフィルター・三脚使用 撮影地：秋田県田沢湖町・田沢湖高原



厳冬の溪谷の片隅に、落ち葉を抱き込むように水結した所があった。氷の上に霜柱が立って美しく見えた。マクロレンズで、その部分に絞ってフレーミングした。

■カメラ：ペンタックス645 レンズ：SMC ペンタックスA645 マクロ120mm F4 絞り：f11 AE マイナス0.3EV補正 フィルム：RVP CPLフィルター・三脚使用 撮影地：茨城県北茨城市・花園溪谷



雪の白に色合いを持たせるには、朝夕の色温度が下がった時が良い。光の色温度は、太陽が上昇するにしたがって、赤からオレンジへ、そして正常な白に見えるようになる。

上の写真の撮影を終えてカメラを下に向けてみると、氷結した湖面に森の赤い色が映り込んでいた。湖面の紋様形の良いところを選んでフレーミングした。

■カメラ：ペンタックス645 レンズ：SMC ペンタックスA★645 300mm F4 ED(TF) 絞り：f32 AE マイナス0.3EV補正 フィルム：RVP CPLフィルター・三脚使用 撮影地：青森県十和田町・高沼



未知の被写体と出逢える期待が、撮影の苦労を喜びに変える。

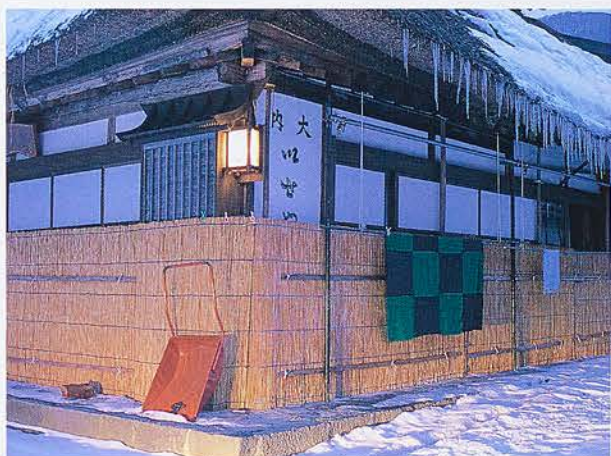
旅の中での撮影活動には、常に新しい発見がある。

まず、丹地先生が写真家とされたきっかけをお聞かせください。

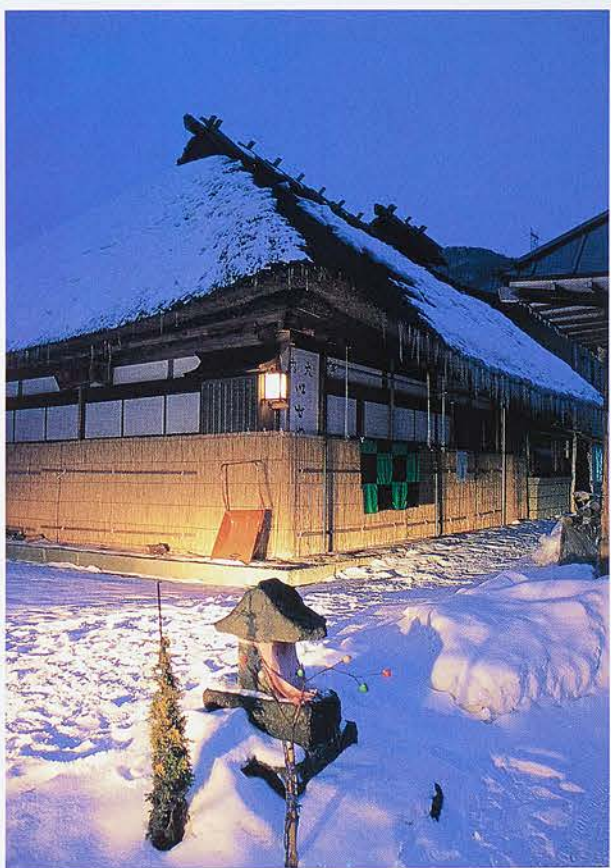
私は中学生の頃から写真を撮っているんですが、撮り始めの頃に通っていた写真屋さんがよく私の作品をほめてくれたんです。これは撮る側にとっては非常にうれしいことですよ。こうしたことから私は写真の道に進んだわけですから、人に作品を評価してもらおうというのはとても大切なことだと思います。社会人となった私は最初、出版社の写真部に勤めておりまして、教育書関係の資料写真などを撮っていたんです。よく日本全国を回って寺社だとか歴史的なものを取材していたのですが、それがきっかけで、フリーランスになった後もその出版社から『日本の旅』という本の撮影を任されることになったんです。その本では旅をする中で、風景から民俗行事・料理・民家など、様々なものを撮りました。そのうちに、他の出版社からも各地域を取材する旅行ものの撮影依頼が来たりして、「旅をしながら目にしたものは何でも撮る」という私の撮影スタイルができました。たように思います。

先生にとって、旅の魅力とは何かをお聞きしたいのですが。

先生にとって、旅の魅力とは何かをお聞きしたいのですが。



左下の作品の撮影を終えてから、ひと回りして戻ってみると、行灯に明かりが灯っていた。車のライトを赤いスコープに当て、霧田気を盛り上げて撮った。
 ■カメラ：ペンタックス645 レンズ：SMC ペンタックスA 645ズーム45～85mm F4.5 絞：f16 AE フィルム：RDPII CPLフィルター・三脚使用 撮影地：福島県下郷町・旧大内宿



上の写真を撮影しているうちに、薄暮状態になった。薄暮の空を入れて、暮れゆく宿場の霧田気が出るように、水神様らしき石塔を入れてみた。
 ■カメラ：ペンタックス645 レンズ：SMC ペンタックスA 645ズーム45～85mm F4.5 絞：f16 AE フィルム：RDPII CPLフィルター・三脚使用 撮影地：福島県下郷町・旧大内宿

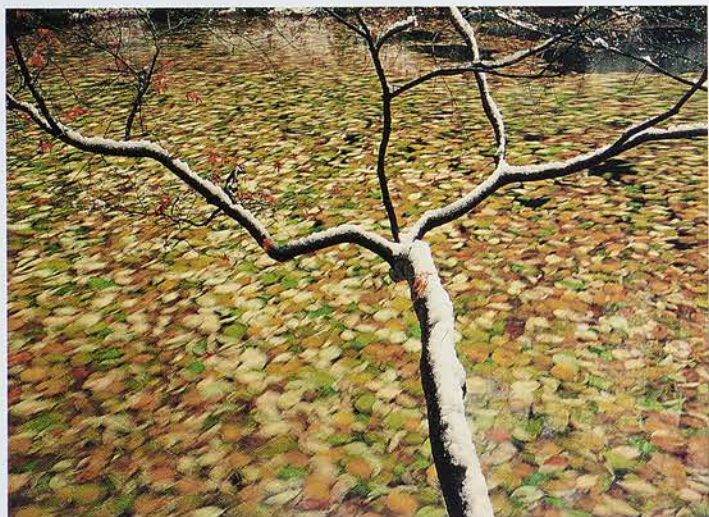
私にとって最も魅力的な写真モチーフというのは、「行ったことのない所」や「見たことのないもの」、つまり未知のものなんですよ。旅というのは、自分にいろいろな未知のものを教えてくれる。新たな発見ができることが旅の良さですよ。食べ物だって、その土地ごとに違ったおいしさがあるのが楽しみです。でも私はガイド本に載っているお店などには絶対に行かず、自分の勘を頼りに店構えや雰囲気などを見て食事する所を決めるんです。確かに当たりはずれは大きいけれど、当たった時の喜びもまた大きい。写真だって、それと同じじゃないでしょうか。

日本の風景の中に、女性的な美しさを見い出す。
 先生が特に好きな風景モチーフを教えてください。

3枚のうち、最初に撮影したのがこの写真だ。赤と緑との色彩の対比が面白く、その色彩をきちんと見せるために、曇天の空の画面配分を考えて露出をオーバー目に設定した。
 ■カメラ：ペンタックスZ1-P レンズ：SMC ペンタックスSFA★ズーム28～70mm F2.8 AL 絞：f11 AE プラス0.7EV補正 フィルム：RDPII CPLフィルター・三脚使用 撮影地：福島県下郷町・旧大内宿



凄まじい地吹雪の日だった。千載一遇のチャンスだ。写真は、その時を記録するかどうかで大違いである。とにかくシャッターを押すこと、これが一番大切なことだ。
 ■カメラ：ペンタックスZ1-P レンズ：SMC ペンタックスFA★ズーム80～200mm 2.8ED(IF) 絞：f11 AE マイナス0.7EV補正 フィルム：RDPII CPLフィルター・三脚使用 撮影地：青森県東通村・尻屋崎



珍しく東京に雪が降った。朝一番に新宿御苑へ入園すると、人気がない御苑の片隅で、ドラマチックな場面に遭遇した。池に溜った落ち葉がゆっくりと移動していた。
 ■カメラ：ペンタックス645 レンズ：SMC ペンタックスA 645ズーム45～85mm F4.5 絞：f13.2 AE フィルム：RVP C P Lフィルター・三脚使用 撮影地：東京都新宿区・新宿御苑



寒々とした雲が湖を這うように流れていた。夕暮れ前のヒュルヒュルという風を体で感じながら湖岸に立ち、あれこれ撮影した中の一枚である。
 ■カメラ：ペンタックス645 レンズ：SMC ペンタックスA645 35mm F3.5 絞：f22 AE フィルム：RVP CPLフィルター・三脚使用 撮影地：秋田県田沢湖町・田沢湖

たいですね。「森」や「水」には女性的な優しいイメージを感じるんです。私の場合、そこに理想の女性像を重ね合わせているのかも知れません。やはり、その風景に恋をしているような気持ちになれて、ウキウキするじゃないですか。

に写真が撮れるならそれに越したことはないというのが私の考えですが、時には道なき道を分け入って、やっと現場にたどりつくことだってあります。でも、それによって自分では苦労だと思っていませんから。そりゃあ、肉体的には苦しいですけど、登山と同じで、未知の風景に出逢える喜びに比べたら、まったく苦になりませんよ。

冬の風景では雪や氷も女性的で美しいモチーフですね。雪はあらゆるものをきれいに見せてくれるんです。写ってほしくないものは真っ白に覆ってくれるし、積もればその柔らかな曲線が、造形的な美しさを醸し出してくれるんですよ。そして雪は冬の冷たさや厳しさを表現するだけでなく、状況のとらえ方によつては、温かみや希望を感じさせることだってできるんですよ。雪がいつぱい積もっていても、その中から草の芽がたくましく顔を出していったら、そこに希望があふれている。同じ雪にも様々な要素が含まれており、いろ

早朝、旅館を出ると残月が南の空に輝いていた。雲が足早に流れて、月が隠れる瞬間があった。タイミングを見計らって何枚かシャッターを押した。
 ■カメラ：ペンタックス645 レンズ：SMC ペンタックスA645 35mm F3.5 絞リ：f22 AE
 フィルム：RVP CPLフィルター・三脚使用 撮影地：青森県十和田町・高温泉



忍野では二、三百人ものカメラマンが赤富士を狙っていた。そこで私は川沿いの霧氷に狙いを絞って撮影した。
 ■カメラ：ペンタックス645 レンズ：SMC ペンタックスA645 300mm F4 ED(IF) 絞リ：f8 AE マイナス0.3EV補正 フィルム：RDPII CPLフィルター・三脚使用 撮影地：山梨県忍野村



車を走らせていると、一本の椎の木が孤立していた。雪がしんしんと降り続いて寂しさを助長していた。その気持ちをそのままフレーミングした。
 ■カメラ：ペンタックス645 レンズ：SMC ペンタックスFA★300mm F4.5 ED(IF) 絞リ：f16 AE マイナス0.3EV補正 フィルム：RDPII CPLフィルター・三脚使用 撮影地：青森県横浜町

写真とは自分の感情の記録。見る人にどれだけ伝わることが大切。

氷は、独特の色彩を持っている。特に透過光で見ると色彩が豊かになる。トップライトの逆光線で見ると陰陽の差が、色彩と立体感を盛り上げてくれた。
 ■カメラ：ペンタックス645 レンズ：SMC ペンタックスA★645 300mm F4 ED(IF) 絞リ：f32 AE プラス0.3EV補正 フィルム：RDPII CPLフィルター・三脚使用 撮影地：山梨県足和田村・野鳥の森公園



足下にだって写真の素材は転がっている。ツツジの枯れ木に氷の華が咲いていた。その華を活かす工夫がフレーミングだ。撮影の過程の中で一番楽しいのが、この作業である。
 ■カメラ：ペンタックス645 レンズ：SMC ペンタックスA★645 300mm F4 ED(IF) 絞リ：f8 AE フィルム：RDPII CPLフィルター・三脚使用 撮影地：山梨県足和田村・野鳥の森公園



ひとつのモチーフを見つけたら、その周りを良く観察することから始める。面白いと思う位置からひとつずつ撮っていくのが私の撮影術だ。
 ■カメラ：ペンタックス645 レンズ：SMC ペンタックスFA★645ズーム45～85mm F4.5 絞リ：f32 AE マイナス0.3EV補正 フィルム：RVP CPLフィルター・三脚使用 撮影地：青森県十和田町・奥入瀬渓谷

いろいろな感情を表現することができるんです。そして氷の場合は、やはりその女性的な曲線の造形に魅力を感じるし、偏光フィルターでその光彩を鮮やかな色彩として表現すれば、そこにひとつの宇宙空間のようなものを創りあげることができて面白いですよ。ただし、単にその造形的な部分を記録しているわけではなく、その形に自分が何を感じたのかという感情を表現しているんです。

また、冬の風景で私が心打たれたもののひとつに、下北半島の寒立馬があるんですが、生き物がそこに存在することによって、冬の厳しさというものが余計に際立ってくるんです。厳しい環境の中で生きていく姿。「長い冬の間、ここにずっと佇んでいるのか」と思

うといとおしくなるし、これがこの地に生きるものの真の姿かという感動を覚えますね。

写真は自由に撮ればいい。そこには何の制約も流儀もない。

「撮影者の気持や感動を写真に表現する」ということが先生の作品づくりにおけるポイントなのではないでしょうか？

その通りですね。写真とは自分が被写体に対して感じた気持ちを記録することだと私は考えているんですが、その「記録された感情」がどれだけ見る人に伝わるかということが大切だと思います。だからその人の感じ方や考

え方が、個性として作品に反映されていないければならないんです。誰が撮っても同じ写真だったらつまらないじゃないですか。

料理を作る時でも、レシピ通りに作ればおいしいというものではないと思います。それは単なる目安であって、作る人それぞれの好みでサジ加減を加えることによって、その人ならではの味になる。だからカメラ雑誌などに載っている撮り方のアドバイスなども、ひとつの目安に過ぎないんです。その通りに撮らなきゃいけない理由は全くないんですよ。

露出の設定なども、マニュアル通りにする必要はないということでしょうか？

はいいいんです。その風景に感じた自分の気持ちのプラス・マイナスが、そのまま露出に反映されなければならないんです。

こうしたことを踏まえて、ひとつことアマチュアの皆さんへのアドバイスはいたただければと思います。

写真というのは人によって様々な見方ができるし、それぞれが自由に撮ればいいものなんです。撮り方には何の制限もないし、何々流なんて流儀はない。唯一「自分流」があるだけなんです。その「自分流」を大切にしてみてください。私の場合は、撮り方もすべて自分で身につけてきました。そしてアマチュアの頃、写真屋さんから始めてもらった時に始めて、ずっとこの「自分流」を貫いてきました。誰かに教えてもらった通りに撮っていただけでは、その人は伸びない。自分ひとりでは何もできなくなってしまうんですよ。

最後に、丹地先生の今後のご活動について伺いたいです。

私は今度、CD-ROMの付いた写真集を出したんです。今やデジタル時代ですから、写真を発表する手段は今までのようにプリントや印刷媒体だけではないですよ。写真というものは元は一枚でも、それがメディアを通じて何千人、何万人の人に見てもらえるのが最大のメリットですから、こうした新しいものはどんどん取り入れて、写真表現の可能性を一層広げていきたいですね。

どうもありがとうございました。



右の写真と同じ場所だが、アングルとフレーミングが変わっただけで、イメージもこのように全く変わってしまう。
 ■カメラ：ペンタックス645 レンズ：SMC ペンタックスA 645ズーム45～85mm F4.5 絞リ：f32 AE マイナス0.7EV補正 フィルム：RVP CPLフィルター・三脚使用 撮影地：青森県十和田町・奥入瀬渓谷

丹地敏明先生の「日本の冬」撮影アドバイス

雪や氷が他の季節とは違った風景を演出する日本の冬。今回は、日本の冬に「雪や氷がもつ女性的なイメージや造形的な美しさ」を追求する丹地敏明先生に、ご自身の作品とその撮り方をもとに、冬の風景撮影のポイントをアドバイスしていただきました。



キタムラの撮影ツアーで撮ったもの。「出逢い」をきちんと記録するのが写真。水蒸気が固まって上昇し、富士山の上で形良くまとまってくれた。イメージによる予測も必要だ。
■カメラ：ペンタックス645 レンズ：SMCペンタックスA645 ズーム45～85mm F4.5 絞り：f32 AE プラス3EV補正 フィルム：RVP CPLフィルター・三脚使用 撮影地：山梨県上九一色村・本栖湖



フナノの林にどっぷり浸かって撮影していたら、突然光が射し込んできた。心地よい眩しさを出すため、ワイドレンズで太陽を入れて撮った。
■カメラ：ペンタックス645 レンズ：SMCペンタックスA645 ズーム45～85mm F4.5 絞り：f32 AE プラス0.7EV補正 フィルム：RVP CPLフィルター・三脚使用 撮影地：秋田県田沢湖町・田沢湖高原



冬の山肌は、枯れ木を浮き上がらせる。斜面のグラデーションと稜線のコントラスト、斜めに垂れ込めた冬の雲の色彩を、画面の中で合わせて楽しんだ。
■カメラ：ペンタックスZ1-P レンズ：SMCペンタックスFA★ズーム80～200mm 2.8ED(IF) 絞り：f8 AE マイナス0.3EV補正 フィルム：RDPII CPLフィルター・三脚使用 撮影地：福島県田島町



寒風吹きすさび、雲が勢よく流れて手足が凍える夕方である。瞬間的に、雲間からの光が流れる雲を赤く染め、ドラマチックな時が刻々と過ぎてゆく。
■カメラ：ペンタックスZ1-P レンズ：SMCペンタックスFA★ズーム28～70mm 2.8AL 絞り：f8 AE マイナス0.3EV補正 フィルム：RDPII CPLフィルター・三脚使用 撮影地：青森県東通村・尻屋崎



写真のイメージはヨコ位置で撮るかタテ位置にするかで変わる。ヨコ位置であるイメージを想起し、画面一杯にその形を構成した。形の想像は、読者に委ねることにしている。
■カメラ：ペンタックスZ1-P レンズ：SMCペンタックスFA★ズーム80～200mm 2.8ED(IF) 絞り：f16 AE マイナス1EV補正 フィルム：RDPII CPLフィルター・三脚使用 撮影地：福島県下郷町・塔のへつり



上の写真と同じ場所でタテ位置にして、状況説明的に撮ったのがこれだ。冷たさや寒さを表現するために、思い切ったマイナス補正をした。
■カメラ：ペンタックスZ1-P レンズ：SMCペンタックスFA★ズーム80～200mm 2.8ED(IF) 絞り：f16 AE マイナス1EV補正 フィルム：RDPII CPLフィルター・三脚使用 撮影地：福島県下郷町・塔のへつり



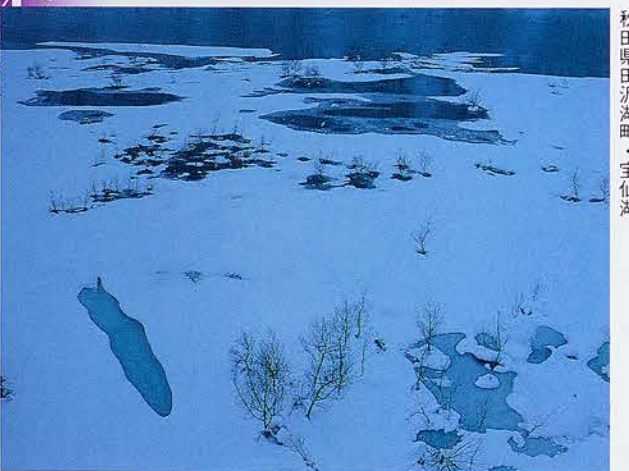
葛沼の撮影をしている時、ふと振り向くと、林の中を光が走っていた。急いでカメラを移動させ、走っている美しい光だけをフレーミングした。
■カメラ：ペンタックス645 レンズ：SMCペンタックスA645 35mm F3.5 絞り：f22 AE マイナス0.3EV補正 フィルム：RVP CPLフィルター・三脚使用 撮影地：青森県十和田町・高温泉



ナメクジのような形だけを、望遠レンズでピックアップした。形を整えるため、邪魔な枯れ枝が入らないように、カメラを少し斜めにして撮影した。
■カメラ：ペンタックス645 レンズ：SMCペンタックスA★645 300mm F4.5ED(IF) 絞り：f32 AE マイナス0.3EV補正 フィルム：RDPII CPLフィルター・三脚使用 撮影地：秋田県田沢湖町・宝仙湖



重苦しい雲が広がり、明日の天気が憂鬱的に思えた時だった。雲間から突然太陽が顔を見せてくれた。太陽が隠れては現れるといった状況が続き、何枚も撮影した。
■カメラ：ペンタックス645 レンズ：SMCペンタックスA★645 300mm F4.5ED(IF) 絞り：f16 AE マイナス0.7EV補正 フィルム：RDPII CPLフィルター・三脚使用 撮影地：秋田県小坂町・笹森峠



私の撮影の仕方は、面白いと感じたモチーフを攻撃的に分割して撮ることが多い。湖が凍って雪をかぶっていた。その状況をワイドレンズでとらえた。
■カメラ：ペンタックス645 レンズ：SMCペンタックスA645 ズーム45～85mm F4.5 絞り：f32 AE フィルム：RDPII CPLフィルター・三脚使用 撮影地：秋田県田沢湖町・宝仙湖



面白い形を発見し、状況も含めた中で強調できるフレーミングを心がける。イメージは、レンズの選択によって様々に変化するもの。ズームレンズには、そのフレーミングを少しずつ変えて撮れる便利さがある。
■カメラ：ペンタックス645 レンズ：SMCペンタックスA645 ズーム45～85mm F4.5 絞り：f32 AE フィルム：RDPII CPLフィルター・三脚使用 撮影地：秋田県田沢湖町・宝仙湖

「路上観察」の達人 **南 伸坊氏**②



「リタイア狛犬」狛犬が見守る神社の参道が、何らかの事情により変更させられたらしい。ある日突然、柵が作られてしまった。香川県の坂出にて。

「重すぎる頭」“何だか顔に見える”もののひとつ。頭でっかちで、「これはちょっと重いなあ」って感じ。目も上を向いちゃってる。埼玉県の騎西町にて。



「初霜」あっ、初霜が下りた?と思ったら実は菊の花の種類。名札だね。枯れかけた風情がいい。埼玉県の葛蒲町にて。



「おみくじつき」駐車禁止の看板におみくじが付いている。赤色というところがいかにも鳥居らしい。埼玉県の行田にて。



「廃車の休憩所」廃車を利用した山の休憩所。このバスは山の頂上まで自力で上がってきて、以来ここで第二の人生を送っているかのようだ。香川県の土庄町にて。

ボク自身は「路上観察」で採集した物件写真を、自分のコレクションとして楽しむというよりは、人に見てもらおうことで、いっしょに現場に居合わせたかのように、面

物事っていうのは、見方によっていくらでも面白さを発見できるんですよ。

「通常は景観とはみなされない看板や貼り紙、魔屋などを「見立て」によって楽しむ知的な遊び」。それぞれが独自のテーマをもつ

南伸坊氏は、知る人ぞ知る「路上観察学会」の中心メンバー。その「路上観察学会」とは、南さんのほか、赤瀬川原平氏(作家・画家)、藤森照信氏(東大教授・建築史家)、林丈二氏(イラストレーター・作家、杉浦日向子氏(江戸風俗研究家)、松田哲夫氏(編集者)らにより、1986年に結成されたユニークな団体。「路上観察学」なる新しい学問(?)を追求する、何やら面白そうなグループとして注目されました。

て活動しているメンバーの皆さんが、日本全国を西へ東へと飛び回り、各地の路上物件を観察しては、その成果をカメラに収めて発表されています。前号のこのコーナーでは、「路上観察」に対する南さんご自身のお考えを語っていたのですが、今回はその続編として、南さん流の「路上観察法」についてお話をうかがいました。さらに「様々な路上物件の中でも、特に看板や貼り紙が得意分野」だとおっしゃる南さんが、今までに撮られた物件写真の中から選りすぐりの傑作をご紹介しますので、南さんのお話と合わせてお楽しみください。

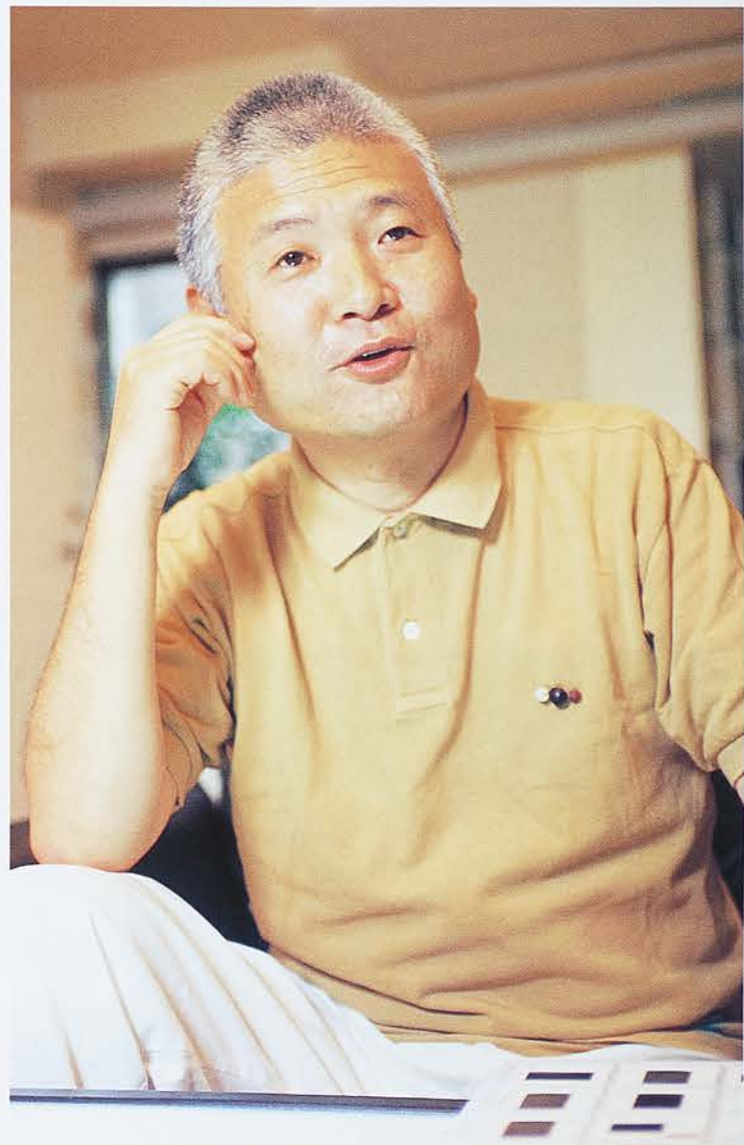
「路上観察」の達人

南 伸坊氏 ②

自分の写真でシールやスタンプを作ったり、あえてモノクロやセピア色の写真にしてみたり…。ひと口に写真といっても、最近ではじっくりと腰を据えて風景などを撮るだけでなく、多様な楽しみ方が見られるようになりました。

このように気軽な写真の楽しみ方のひとつとして、見慣れた日常風景の中に、新たな視点で興味深い被写体を見出し、カメラを向けている方々も増えているようです。

こうしたフォトライフの楽しみを、あなたの自由な発想と感覚でいっそう広げていただく「日常風景ウォッチング」をおすすめするこのコーナー。今回も前回に引き続き、「路上観察の達人」としておなじみの南伸坊氏にご登場いただき、南さん流の「路上観察法」についてお話をうかがいました。



みなみ しんぼう
1947年東京都生まれ。雑誌「ガロ」の編集長を経て、80年よりフリーに。NHKテレビ「スタジオL」の司会などで、坊主刈りオニギリ頭がお茶の間にも知られ、人気を得る。現在は軽妙なイラストと文章の「イラストライター」として活躍中。主著は『モンガイカンの美術館』(朝日文庫)、『ハリガミ考現学』『笑う写真』(ともちくま文庫)など。



「廃車の休憩所」廃車を利用した山の休憩所。このバスは山の頂上まで自力で上がってきて、以来ここで第二の人生を送っているかのようだ。香川県の土庄町にて。

「路上観察」の達人 南伸坊氏②

「角のとれた人」路上では、縁起ものの石像を見かけることも多い。これもそのひとつだが、すっかり角がとれて丸くなってしまっている。香川県の琴南町にて。



「とまってみよう」赤い燕とも妖怪ともつかないものが、道路標識の柱の陰から恥ずかしうに注意を喚起している。命令調でないところがいい。香川県の長尾町にて。



「孝行鳥居」年老いた親鳥居を子の鳥居がけなげに支えている。しかし、子供にも彼れがみえて赤い肌も剥けかかっている。参拝者の憐れみを誘う。香川県の土庄町にて。

「面長の大魔神」大魔神の大兜。顔の寸法をまちがって作ったのがぶるごとく野ざらしになっている。た？実はコレ、自衛隊の歩哨所。香川県の普通寺にて。

南さんのお話をお聞きした後で街に出ると、今まで何げなく見過ごしていた看板や貼り紙が、妙に気になって私たちまでついキョロキョロしてしまいがちです。さて、次号では、南さんと同じく「路上観察学会」の中心メンバーである赤瀬川原平氏にご登場いただき、南さんとはまた違った角度から、「路上観察」について語っていただきます。お楽しみに。

(次号につづく)

家といえればみんな木造で、コゲ茶色の板張りばかりだったんです。そういう家が今も残っているのを見ると、最近の住宅にはない味わいを感じますね。また、こういう板張りに、ホロー製の広告看板なんかが取り付けてあったのも、子供の頃さんざん見ていた光景なんで、今、見かけると思わずシャッターを切ってしまうんです。そういう体験のない人にとっては何の意味もないモノかも知れませんが、同じ世代の人とはこうした懐かしさを共感できるんですよ。

んです。

また、これが貼り紙になると、もつと言葉の意味が前面に出てきますから、それが我々の一般的な感覚と微妙にズレた時の面白さっていうのが分かりますよ。デザインやコピーライターが作った広告的な貼り紙ではなく、極めてパーソナルなもの。例えば自分の家の前にゴミを置かれて腹の立つている人の気持ちをそのままぶつけた肉筆の貼り紙とか。作者が最初から面白がらせようとして作ったものって、むしろ素直に笑えないんですよ。作者の意図していない面白さを、一枚の貼り紙の中に見出すのが楽しいんだな。



「柳乃湯」(上・下)まるで映画館のような銭湯。色はトロピカルデコみたくて、なかなかモダンなデザイン。埼玉県の行田にて。



「アブナイ」スナック「アブナイ」っていう店の名前だったりして。「アブナイ」って言われると、かえって入りたくなったり…。埼玉県の行田にて。



「ホーローじゃない」「花」という字が右からも左からも書いてある。一見古そうな看板だが、ホーロー製ではないので比較的新しいはずだ。埼玉県の行田にて。



「元禄白髪男」ホーロー看板というのは、ボクが子供だった昭和20~30年代にかけて多く作られたもので、懐かしくて必ずカメラにおさめずにはられない。香川県の満濃町にて。



にとつてはどんなにクダラナイ事だつていいと思うんです。やっつてる本人たちが楽しければ。同じモノを見ても、それに意義を見いださない人にとつては、何でも無いものとして見過ごされてしまうでしょう。生活の中で価値のあるものっていうのは、人それぞれですから。そういう意味では実用的には何の役にも立たないけれど、ある人にとつては「面白い」という価値をもつモノっていうのも、あると思うんです。「マンホール」とか「神社の狛犬」とか、学会のメンバーにはそれぞれ得意分野があるんですが、例えば「作者の意図していない面白さを、一枚の貼り紙に見出すのが楽しいんだな。」

と、例えば葉屋にかかっている平仮名の「くすり」という文字も、何やら「くすり」と笑っているように思えてくるんです。以前、米沢を路上観察していて、「牛肉手作り工房」なんて看板があったんですが、素朴な疑問として「牛肉をどうやって作りするんだろ？」って気になっちゃって(笑)。あるいは奥さんという名前の歯医者さんがいたら、「奥歯科」という看板を出しますよね。それを見て「オクバ科」ってのがあるの？」と言って不思議がる人もきつといると思うんです。街ゆく人は、みんな世の中の事はすべて分かったような顔をして歩いているけど、日常見かける看板なんかも、よく分からないモノって結構多い

異端者扱いの苦勞にもめげず、 写真術を習得した上野彦馬



上野彦馬が撮影した坂本龍馬

日本における写真の歴史を語る上で、忘れてはならない人物として、幕末に西洋より伝わった写真術の研究に尽力した上野彦馬があげられるでしょう。彦馬は1838年(天保九年)、長崎に生まれました。ちなみに天保年間という時期は、幕府老中・水野忠邦が唱えた改革論の中で、江戸の人々は貧困にあえいでいた時代です。映画や小説でも知られるように、遠山金四郎と老中水野との対立が激しくなっていました。



慶應二年に撮影された高杉晋作

彦馬の父、上野俊之丞は初めて銀板写真を輸入した人物として知られますが、彦馬が習得しようとしたのは、

としたのは湿板写真だったので、直接その技法が役立つことはなかったようです。とはいえ、蘭学や写真に明るい俊之丞を父に持った環境が、彦馬に大きな影響を与えていたことは明らかでしょう。そもそも上野家では日常的にオランダ語が話されていたといわれ、彦馬は幼い頃から学問を重んじる環境で育ったこと



錦絵にも描かれた明治初期の写真館。女性の左側の椅子には頭を固定する柱が見える

がうかがえます。彼は5歳の時から長崎奉行の支配下にあった松下文平塾で学んでおり、この頃から学問に目覚めていたようです。後に、高野長英や大村益次郎らの優れた人材を送り出した、大分の広瀬淡窓にも学んでいます。その後、舎密(化学)試験所に入った彦馬は、オランダ人のボンベに学び、「ポトガラフイーII写真」に強い興味を抱きます。やがて彦馬は写真機の製作に取りかかり、ついに双眼鏡のレンズを利用した木製のカメラを完成させました。ところが問題は感光材です。彼の師であるボンベもそれほど写真に精通しているわけではなく、彦馬は独学で感光材の研究に挑戦しなければならなかったようです。アルコール・硫酸・アンモニア・青酸カリな

その研究のためには牛の肉や骨も買入れなくてはならず、周囲の人たちからは「彦馬は気が狂った」と噂されました。当時の日本人には肉を食べる習慣がなく、オランダ人の飲むぶどう酒でさえ珍しくて「人間の生き血」だと思われていた時代だったので、無理もない話です。彦馬はまわりから異端視されていたのに加え、感光材の実験では異常な臭気を周辺に発していたことで、長崎奉行所に訴えられたこともあったそうです。こうした大変な苦勞を重ねた末、彦馬はほとんど独学で写真術を完成させたのです。



明治初期の上野彦馬

写真おもしろいヒストリー 15

Nikon

APS-C一眼レフ
ニコン・プロネア600i



APSで、本格一眼レフが
グンと身近になった。
さあ、作品を撮ろう。

PRONEA 600i

希望小売価格(税別) ボディ本体…¥83,000(ストラップ/液晶目当てOK-9付) | Xニッコール24-70mm F3.5-5.6付…¥107,000



■カタログをご用意しています。機種名をご明記の上、100-91東京中央郵便局私書箱1269号 株式会社ニコン お客様相談室宛ご請求ください。

株式会社 ニコン 本社 100 東京都千代田区丸の内3-2-3(富士ビル) 製品に関するお問い合わせは「お客様相談室」まで。電話(03)3216-1010

京セラ株式会社



CONTAX AX

Automatic Back Focusing System

- 永年愛用のカル・ツァイスT*レンズがそのまま使える画期的なAFシステム
- 新開発オートマチックバックフォーカシング方式
- 作画重視の測光方式、中央重点平均測光/スポット測光
- 高精度 最高速1/6000秒縦走行フォーカルブレンシャッター
- チタンカバー採用の強靱なアルミダイキャストボディ
- 絞り値、シャッター速度、露出モード、露出補正値の撮影データ等を記録できる専用データバックD-8
- メーカー希望小売価格:本体 250,000円 データバックD-8 68,000円(税抜き価格)
- お問い合わせは:京セラ(株)光学機器事業本部〒150東京都渋谷区神宮前6-27-8 TEL.03-3797-4611(代)



「アメリカン・ショートヘア」庭でのんびり遊びながら、ジャレながらも、猫の持つハンターとしての習性が顔を出す。その機敏さ、体のしなやかさを思い描きながら撮った。
 ■カメラ：ニコンF4 レンズ：105mm 絞り：f8 シャッタースピード：1/125 フィルム：RDPII 三脚使用

「スコティッシュ・フォールド」我が家で生まれた仔猫たち。可愛らしさが表現されるように、毛色に合わせて背景の色や素材を選択した。ストロボ3灯ライティングで撮影。

■カメラ：マミヤRZ67 レンズ：180mm 絞り：f16 シャッタースピード：1/125 フィルム：RVP 3灯ストロボ使用



「バーニーズ・マウンテンドッグ」顔の白い部分(ブレイズ)がシンメトリーに見える面白さと、人に何かを訴えるような瞳を表現できるよう、正面からとらえた。

■カメラ：ニコンF4 レンズ：105mm 絞り：f5.6 シャッタースピード：1/125 フィルム：RDPII 三脚使用

「時には犬や猫が思わぬ行動をとるハプニングもありますよ。ある時、ラブラドルという犬を茨城の霞ヶ浦で撮影してしまっていて、冬だったんですが、水に入りがつてしまうが、冬なんです。それでどうとう撮影中に飛び込んでしまった。また、暑い夏の撮影だと、動物の方もバテてしまうので、撮影の合間に保冷剤を体に当ててやったりもするんですよ。見るからに微笑ましいペット写真にも、その撮影の現場では、我々の伺い知れない様々な苦勞があらわなようだ。

増田氏の場合、作家としての作品制作のほか、図鑑に掲載する図説資料的な写真や、さらにペットフード関係の商業写真など幅広く手がけている。「図鑑に使用する写真の場合には、やはり犬や猫の種類がはっきり分かるような撮り方をします。例えばシベリアンハスキーとアラスカンマラミュートという2種類の犬は、全く同じような毛色をしているんで

「バーニーズ・マウンテンドッグ」顔の白い部分(ブレイズ)がシンメトリーに見える面白さと、人に何かを訴えるような瞳を表現できるよう、正面からとらえた。
 ■カメラ：ニコンF4 レンズ：105mm 絞り：f5.6 シャッタースピード：1/125 フィルム：RDPII 三脚使用

すでお気付きの皆さんもいらつしやると思うが、カメラのキタムラ主催の「ペット・動物ふれあい写真コンテスト」で、増田氏は昨年より審査員を務めておられる。そこで今年も審査を担当していただく立場から、応募者へのアドバイスをお願いすると、「技術的に優れた写真よりも、優しさや愛情あふれる一瞬をうまくとらえた作品”人とペットとの一体感が表現された作品”を期待したい



ますだ かつまさ
 1945年東京都生まれ。愛犬雑誌のカメラマンを経て、現在フリーの動物カメラマン。主な作品に「NHK趣味百科「イヌとつきあうために」(日本放送出版協会)、「パノラマ図鑑“ネコ”」(講談社)がある。富士写真フィルム、山と溪谷社等のカレンダーでも知られる。アイメイト(盲導犬)のボランティア活動にも参加し、自ら犬、猫の繁殖・育成に関わっている。

「シベリアンランド・シープドッグ」撮影者である自分の存在が薄くなるように、あえて犬たちの行動を冷たい態度で無視し、自然に親子で遊び始めるのを待つ撮影を開始した。
 ■カメラ：ニコンF4 レンズ：200mm 絞り：f5.6 シャッタースピード：1/250 フィルム：RDPII 三脚使用



です。ね。ペットが一番いい表情や姿を見せる相手は、やはり飼い主自身なのですから」と増田氏。読者の皆さんもペットを題材にした傑作写真が撮れたなら、ぜひ今回のコンテストにチャレンジしていただきたい。



「セント・バーナード」大型犬の仔犬ならではの、のんびり感を順光でとらえた。空の青さや草のグリーンの広大な感じを、ベルビアを使って表現。

■カメラ：ニコンF4 レンズ：200mm 絞り：f5.6 シャッタースピード：1/250 フィルム：RVP 三脚使用

THE
 フォトワールド
 11

「ペット」を撮る

犬や猫たちの可愛さを伝え、人と動物との絆を育みたい。
 増田勝正氏(写真家)

犬や猫は、今や単なる愛玩動物ではなく、家族の一員にコンパニオン・アニマルとして、我々人間にとってより大きな存在となりつつある。こうしたペットをお飼いの皆さんなら、最も身近な写真モチーフとして、カメラを向ける機会も多いことだろう。

今回お話を伺った増田勝正氏は、かつて雑誌「愛犬の友」の専属カメラマンをしていたことがきっかけでフリーの動物写真家となり、犬や猫の写真を撮る30年近く撮り続けている。「自分にとって犬や猫は、被写体というよりも、もう生活の一部ですね」と笑う彼の自宅には現在数十匹ものペットが飼われているそう。増田氏の場合、普段から愛犬家・愛猫家とのネットワークを持ち、必要に応じてモデルとなるペットを借りる方法もとっているが、やはり借りた動物よりは、自分が飼って慣れ親しんだ動物の方が、警戒心がなく自由に撮れるので、常に数種類の犬・猫を目前でキープしているのだ。

最近我が国でもペットブームだと言われているが、「流行やファッションのような感覚で動物を飼う人が多く、本当に動物を愛するペット文化というものが、まだまだ欧米のようには定着していない」と苦言を呈する増田氏。「飼い主とペットがよりよい関係を築いてもらえるように、作品によって、人と動物との



「シバ犬」この犬種が持つ毛色の軽快感を順光でとらえた。明るい季節感のイメージを大切にしたい。

■カメラ：ニコンF4 レンズ：300mm 絞り：f4 シャッタースピード：1/250 フィルム：RDP II 三脚使用

絆や、犬や猫たちの本当の可愛さを伝えたいと思っているんですよ」と動物写真家としての思いを彼は訴える。

「ペットを撮る上では、犬や猫の習性や行動パターンをよく知っておくことが大切です」と増田氏は強調する。というのも、犬や猫は一日の中での睡眠、食事、運動、排泄、といった生活パターンが人間以上にきつちりと決まっているからだ。たとえ走っている姿が撮りたいと思っても、もし動物が眠ってしまったり、カメラマンとしては寝ている姿を撮ることしかできない。したがって撮影者がモデルとなる動物の生活サイクルを事前にチェックした上で、それに合わせて手際よく撮影す

モデルの目に合わせAFフレームを選択すると、機動性に優れた構図優先のAF撮影ができる。



●ボディ正面
パワードライブプaster-E1を装着したEOS-1NHS。ボタン部にはゴムシリングなどが施され、防滴性を確保している。



●ボディ背面
視野率100%のファインダーにはアイピースシャッターを内蔵。リアルタイム露出補正やAFフレーム選択に威力を発揮するサブ電子ダイヤルもレイアウトされている。



EOS-1Nの最大の機能特長は、ファインダー内に5点の測距点を設けたこと。通常、スポーツなど動きのある被写体の場合、画面中央で合焦させたまま被写体に合わせてカメラを振る撮り方になってしまい、構図

「やはりプロの皆さんが仕事に使われるのですから、最も大切なことは信頼性だと思えます。撮影者の思い通りに作動して、意図した通りの写真が撮れるという安心感を得られることが、EOS-1Nに課せられた使命だと

「動く被写体も確実にとらえ、思い通りの描写を実現。」

「やはりプロの皆さんが仕事に使われるのですから、最も大切なことは信頼性だと思えます。撮影者の思い通りに作動して、意図した通りの写真が撮れるという安心感を得られることが、EOS-1Nに課せられた使命だと

我々は考えました」とキヤノン(株)カメラ開発推進室専任主任の樋口好勝氏は語る。

この考えの具体的な現れのひとつが、基本的にEOS-1の操作性を継承したこと。EOS-1のプロユーザーの中には、このカメラをブラインドタッチで扱えるほど使いこなしている方も多いため、その後継機の操作性が全く違ったものであつてはならないのだ。また、堅牢性・耐久性といったことでもEOS-1Nはプロの信頼に込められている。10万回以上の作動耐久能力を備えるとともに、湾岸戦争の報道で活躍したEOS-1の防滴・防塵性を継承し、堅牢性もさらに向上させているという。



キヤノン(株)レンズ開発推進部長 池森敬二氏

また、被写体が不規則に動くのでピント合わせが難しいといわれるファッションショーの撮影などでも、5点測距のEOS-1Nと超望遠のEFレンズが活躍しているという。我々にはスポーツ撮影などで使われるイメージが強いこのカメラの、ちょっと意外な一面を教えてくださいました。

を工夫している余地はあまりなかった。その点、5点測距ならフレーミングしながら画面内に5つある測距点のうち任意のものを即座に選べ、構図優先の写りが撮れるのだ。また、画面の中を横切る被写体を5つの測距点で追いつけることもできるので、連写で時間の経過を表現するような撮影も可能である。

EOS-1Nがプロカメラマンから認められている理由は、カメラの性能だけでなく、直接描写力に関わるレンズによるところも大きい。「例えば300mm手振れ補正機構搭載のEFレンズは、構想から製品化まで10年かかっているんです。お陰さまでユーザーの方からの評判はいいですね。手持ちで飛行機を流し撮りできるのか、今まで撮れなかったものが撮れることが大きいよつです」と語るのは、キヤノン(株)レンズ開発推進部長の池森敬二氏。

開発当時、「10年後も通用するAFシステム」を目指したEOSシリーズは現在、カメラ・レンズ群ほか様々なアクセサリ類まで網羅した、高品位AF一眼レフシステムの構築を実現した。その登場からちょうど10年、さらなる映像表現の発展に向けて歩み続けている。

キヤノン1億台記念ポスタープレゼント
キヤノンのカメラ販売台数が1億台を突破したのを記念して、歴代の代表製品がスライドと勢揃いしたオリジナルポスターが製作されました。このポスターを抽選で30名の方にプレゼントします。あて先は、〒240-0293 横浜市港北区新横浜2-4-1 カメラのキタムラ(フットライフ)四季 キヤノンポスタープレゼント)係まで。
締め切りは2月28日(当日消印有効)。

EOS-1N(中央前)と姉妹機EOS-1NHS(中央後)、EOS-1NDP(右)、EOS-1NRS(左)のラインナップ。



「樹木でも、その土台となる根がしっかりと張っていないならば、幹や枝を伸ばすことはできません。将来の発展性を考慮し、その根となり得るキヤノンならではのAFシステムを構築したかったのです」と語るのは、キヤノン

1980年代半ば、カメラメーカー各社から続々とAF一眼レフが発売され出したが、その中でキヤノンのEOSは他社製品に一步遅れをとる形で登場した。実際、キヤノンのAF技術開発自体はその数年前より行なわれていたのだが、「必要な開発期間をかけて、良い製品をじっくりと作り上げる」ことを基本とする会社には独自の構想があつたのだ。

「株)カメラ開発推進室専任主任の新宮保氏。こうしたシステムの理念が、その後のEOSシリーズすべてに反映されているという。

AF一眼レフの登場は、カメラ史上において画期的な出来事ではあつたが、これが市場に出回り始めた頃は、概してプロカメラマンからの反応は鈍かったという。やがてプロたちもAFのメリットに注目し始め、こうしたプロユースに対応したカメラがEOSシリーズにも登場。1989年発売のEOS-1である。このカメラには、従来の3倍の感度をもちAFに加え、「動体予測」や「高速連写」などプロの要求を満足させ得る高機能が搭載されており、多くのプロやハイアマチュアユーザーの獲得に成功した。

そしてこうしたプロユーザーが、実際にEOS



キヤノン(株)カメラ開発推進室専任主任 新宮保氏

キヤノン独自のAFシステム、EOSの最高級機として開発。



EOS-1N(1994年発売)
キヤノンEOSシリーズの最高級機に位置付けられるプロ仕様のAF一眼レフ。「世界最速レベルの高精度5点AF」「サイレント給送」「カスタムファンクション14種」など、プロの声を反映させた高機能を搭載。

プロの意志と信頼に応える EOSのフラッグシップ機。

キヤノン初のAF機・EOS650が10年前に発売されて以来、上級機から普及機まで様々なタイプの製品をラインナップしてきたEOSシリーズ。皆さんもご存じのように、数々のヒット製品・話題製品がこのシリーズから生まれています。今回はキヤノンをお訪ねして、その中でも最上位に位置付けられるフラッグシップ機・EOS-1Nの開発についてお話を伺いました。

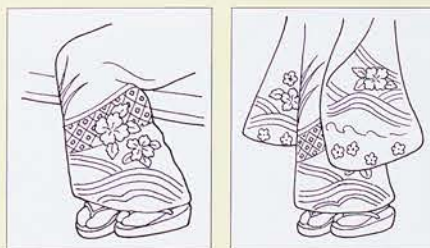
お正月や成人式に備え、着物撮影のコツを会得しよう。

お正月の初詣や成人式など、冬は和服の女性を撮影する機会が多い時期です。和服を撮るといことは、着物のもっている優雅さ、豪華さを表現することに加え、全体の姿もポイントになります。ポーズの取り方がよくないと、着物の雰囲気を壊してしまうことにもなりかねないので撮影者の配慮が必要です。

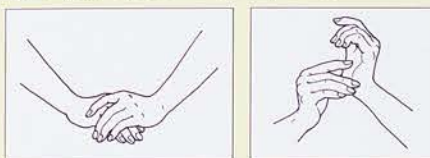
背景選びが重要なポイント

和服を撮るといっても、もちろん着物だけを写すわけではありません。基本は人物のポートレート撮影なので、背景が重要なポイントとなります。洋服姿であれば、バックがコ

少し暗めの方が和服を一段と引き立たせます。足のポーズは内股が基本。和服の撮影では、基本的に静的な雰囲気の描写を心がけます。特に全身撮影で最も注意すべきことは、足の位置。極端にする必要はありませんが、両足を着けた内股のポーズが基本です。これは立ち姿だけでなく、椅子に座った姿にもいえることです。また、両足のつま先が正面を向いていると、和服の場合、あまりサマになりません。イラストにあるように、内股にしながら左右どちらかの方向に足を振ると良いでしょう。さらに細かいことをいえば、つま先をキッチリ揃えずに前後させることで、よりエレガントに見せることができます。最近の女性はあまり和服を着慣れていないので、こうしたことはカメラマンが注意してあげないと気がつかないものです。



両足は内股で、左右へわずかにずらす。



手はエレガントなポーズを考慮して。

一方、手の位置も意外と難しいものです。手を胸より上に挙げたり、左右にダラリと下げるのは良くありません。両手を前で組み、帯より下の位置に置くのが基本です。あるいは片方の手だけを帯留めの下か、帯の下くらいに置いて自然な形になります。座った姿でも手の位置は帯より下に置くようにしましょう。

様々なポーズやアングルで撮ってみよう

和服撮影も正面向き、画面中央の構図ばかりでは、面白くない写真になります。基本のポーズをひととおりおさえたら、もっ



と自由な表現を狙って、様々なアングルやポーズにも挑戦してみたいものです。振り袖ならば、たもとを持って上に挙げてもらうのも良いでしょう。この場合、たもとが体から離れない程度にします。また振り袖を振って動きのあるポーズを決めるのもひとつの手です。後ろの締め帯を入れたり、きれいな襟足が写るように横顔をおさえる方法もあります。上半身、七分身、全身など構図もいろいろと考えられるので、ファインダーを覗きながら工夫してみてください。

がうるさい時などは、開放にしてボカすことができます。

基本的には人物と着物を引き立たせるように撮影するのがコツですが、着物をより良く見せたい時には思いきって絞ると、細部までハッキリと描写されます。この場合は特に、背景がうるさくならないように注意してください。また、和服姿の撮影は動きが少ないので、シャッタースピードよりも絞り優先モードで撮影して、被写界深度を活かすことをおすすめします。ソフトフォーカスレンズを使う方法もありますが、そればかりでは和服の良さが際立たないため、適度に織り混ぜる程度にしましょう。さらに逆光での撮影など、工夫しだいで様々な表現が可能です。この冬、ぜひ一度和服の撮影に挑戦してみてください。

人物と着物を引き立たせるのがコツ

ポートレート撮影では、レンズは35〜105mmのズームがあれば、大体の撮影をカバーできますが、可能な限り明るいレンズの方が有利です。F2以下の標準レンズも併用すると良いでしょう。明るいレンズがあれば、バック

写真提供：株田源



楽しい、かわいい、傑作ショット大募集！ 第3回ペット・動物ふれあい写真コンテスト 作品募集

●募集期間：平成9年12月15日(月)～平成10年2月28日(土)

●賞金・賞品総額：150万円

※詳しくは、12月中旬よりカメラのキタムラ各店に設置されるポスター、または応募用紙をご覧ください。



第2回ペット・動物ふれあい写真コンテスト
グランプリ作品「私の宝物」永野忠(宮崎県)



第2回ペット・動物ふれあい写真コンテスト
最優秀賞作品「秋の日に」柳澤祥吉(長野県)



第2回ペット・動物ふれあい写真コンテスト
最優秀賞作品「ないしょ話」宮田邦夫(石川県)

RICOH

レンズの力。リコーGR1誕生。



GR1

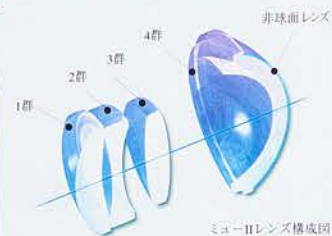
ボディカラー：ブラック/シルバー (サイズ：117mm×61mm×26.5mm)
メーカー希望小売価格 GR1本体(革ケース・ストラップ込) ¥90,000 (税別)
デーツ付 ¥100,000 (税別)

リコーカメラお客様相談窓口 リコーカメラについてご意見・ご希望がございましたら下記までご連絡ください。
〒104 東京都中央区銀座6-14-7 株式会社リコー パーソナル事業部
0120-007962
●受付時間 月曜から金曜 9:30～18:00 土曜 9:30～15:00
●日曜・祝日はお休みさせていただきます。



大口径レンズ・35mmF2.8を採用。

このクラスで初めてF値2.8の明るいレンズを搭載。微妙な光を活かした深みのある写真を実現します。さらに高性能非球面レンズの採用により、ひとクラス上のシャープな画質を実現。これまでにない撮影領域と高画質が存分に楽しめます。



μ[mju:]II

希望小売価格(税別)
¥36,000(リモコン/ケース/ストラップ付)



μ[mju:]ZOOM 115

希望小売価格(税別)
¥56,000(リモコン/ケース/ストラップ付)

私のレベルは、そうとう高い。

SIGMA



OUR
WORLD

白夜の陽光の下で、風景は透明感を増していた。オーレン、23時30分。
糸数まさやす:1943年中国に生まれる。東京総合写真専門学校卒業後、スウェーデンに渡る。現在は、東京を拠点に活動。風景、人物を主なテーマとする。撮影データ:シグマ 28-105mm F5.6、1/8秒

糸数昌寧が世界を撮ったとき、手にしていたレンズはシグマだった。

NEW



28-105mm F2.8-4 ASPHERICAL

●希望小売価格(税別):
39,000円、ケース・フード付

北極圏、白夜、オーロラ...この光は私のものだ、と糸数氏は語る。ノルウェー・オーレン。夜の太陽の淡い光の中、透明感に満ちた街を捉えたのはシグマ。シャープで扱いやすいレンズだ、と彼は言う。非球面レンズと独自の4群ズーム方式の採用により大口径でありながら、明るいF値と小型軽量を実現。絞り開放から高コントラスト、高解像度の描写が可能。インナーフォーカス採用で前玉が回転せず、フィルター使用も容易。

明るさと使いやすさ、高性能を同時に実現。旅行に、スナップ撮影に最適な新標準ズーム。

SIGMA Zoom Lenses

お問い合わせは、株式会社シグマ 〒201 東京都柏江市岩戸南2-3-15 tel. 03(3480)1431まで。

PENTAX

道具として
進化を遂げた
一眼レフ。

両手に包み込めるほどの超小型ボディ。操作がひと目でわかるダイヤル式オペレーション。絞りとシャッター速度を自在にあやつり、撮影意志をフィルムに焼きつける。カメラ本来の魅力をよみがえらせて、世界のカメラファンから絶賛されたMZシリーズの最新鋭、MZ-3。カメラを愛するすべての人に捧げます。

- 1/4000秒高速シャッター●オートブラケット
- 電子プレビュー●メモリーロック他

ダイヤル式世界最小 超軽量先進AF一眼

MZ-3

希望小売価格(税別)
ボディ(ブラック/シルバー)…83,000円
FAズーム28~70/4AL付…113,000円

※平成9年7月1日現在、レンズ交換式35mmAF一眼レフで世界最小。

新・発・売



カメラが
また
変わった。
新しい
世界

〒100 東京都千代田区永田町1-11-1 旭光学工業株式会社・ペンタックス販売株式会社 インターネットホームページ <http://www.pentax.co.jp/>

佳作 (30名) 賞金1万円と楯



入賞 (300名) 記念品と楯

北海道 橋本智一(札幌市)「わたして、キレイ?」...

FUJIFILM

まぶしい笑顔、大募集!! 第5回チビッコ写真コンテスト

入賞作品発表!

フォトネットワーク



主催:カメラのキタムラ 協賛:富士写真フイルム(株)

応募総数 約9,300点

「第5回チビッコ写真コンテスト」にたくさんのご応募ありがとうございました。約9,300点の応募総数の中から見事に入選された方々をここに発表させていただきます。

総評:どの作品も、その瞬間にしか見られない子供たちの豊かな表情をよくとらえており、選ぶのになかなか迷いました。こうした中で最終的に残ったのは、ただ漠然と写しただけでなく、何を表現したいのかがストレートに伝わってくる作品です。

審査員 沼田 早苗さん プロフィール:大竹省二スタジオの助手を経て、78年フリーランスとなり、個展「男の素顔」を全国で開催...



審査員 沼田 早苗さん

グランプリ (1名) 賞金10万円と楯 「仲よし」戸田栄作 (東京都北区) 寸評:小さな子が大きなスイカをもて余している様子や、もうひとりの顔を覗き込んでいる表情が面白い作品...

最優秀賞 (5名) 賞金5万円と楯

「わー かわいい」 相場幸一 (新潟県燕市) 「身体検査」 山崎盛治 (群馬県館林市) 「笑顔で料理」 野々村博行 (愛知県名古屋)...

優秀賞 (10名) 賞金3万円と楯

「つまえらるるかな?」 森次雄 (福島県伊達郡) 「ママ!大きいね」 星川明美 (奈良県奈良市) 「ママ!冷たいよ」 岡野勇 (福岡県久留米市)...

「子供と温泉」 田中 雅士 (大阪府泉南) 「読書」 石橋正光 (佐賀県佐賀市) 「まけるもんか!」 平嶋浩司 (大分県杵築市)...

デジタルカメラ特集

パソコンの普及とともに、急速にユーザーが広がりつつあるデジタルカメラ。各メーカーからも新製品が続々とリリースされている、今話題のデジタルカメラを今回は取り上げました。



富士写真フィルム DS-300

インターネットが話題になり、電話回線にISDNが利用されるなど、今、世の中はほとんどデジタル化へと進んでいます。こうした時代背景から生まれた製品が、今回ご紹介するデジタルカメラです。

高画質化が進むデジタルカメラ

デジタルカメラは約10年前に業務用を主体として発売されましたが、その後カシオが1995年に25万画素の普及機を発売して注目を集め、現在では高画質化が進んで普及機では35万画素、価格も7万円前後で販売されています。デジタルカメラは画素数が高くなる

デジタルカメラを購入される際に注意しなければならぬポイントに、画素数の他にデータを保存するフォーマットの規格があります。デジタルカメラで撮影した作品は、本体やメモリーカードなどに保存されるのですが、このデータを保存する際のフォーマットの種類が複数あるのです。現在、日本電子機器工業会ではJPEGというデータ圧縮方法を用いたEXIF（エクシフ）で統一化が決められていますので、この規格に合わせた商品を購入すると有利でしょう。

デジタルデータの出力に際して、全国ネットのフジフィルム系列でも、この規格を採用しています。もちろん、これ以外のフォーマットでも、データを変換すれば使用が可能です。デジタルカメラは画素数が高くなる

めになるユーザーの方も増えてきています。デジタルカメラで撮った作品をパソコンに移し、通常のプリンターを使用してプリントアウトする場合、サービスサイズ(E、Lサイズ)程度ならば35万画素のものでも十分な画像を得ることができ、写真の細かなディテールを求めるとなると、多少不満が残る方もいることと思われます。もっとも、画素数の高いカメラを買ったところで、その画素数を再現できるだけの高精度なプリンターがなければ意味がありません。

プリンターも精度の高いものとなると高価になってきますので、高画質のプリントを求めるには、外部に依頼するといひでしょう。この場合は画素数が高いカメラで撮影した方が仕上がりがいいの言うまでもありません。

データ保存のフォーマットに要注意

購入される際のその他の注意点

液晶モニターが装備されているものでしたら、撮影した画像をその場で確認することができるので便利です。また光学ファインダー付きの機種ですと、手ブレの防止とバッテリーの消耗をおさえることができます。また、室内撮影を考えれば、ストロボが付いている機種が有利なの言うまでもありません。

この他のチェックポイントとしては、

1. ビデオをお持ちの方でしたら、ビデオ出力機能があるかどうか。
2. パソコンを用いる方でしたら、データの転送がデジタルカメラからパソコンへ送るだけではなく、パソコンからデジタルカメラへ転送することができるかどうか。
3. 電源が複数の種類に対応しているかどうか。
4. カードやフロッピーに記録できるかどうか。

などがありますが、デジタルカメラを使用する目的によって選択の基準は変わります。このことは、それだけデジタルカメラが多岐の可能性を秘めていることの現れなのかもしれせん。撮影した画像がビデオやパソコンへ、そしてパソコンを通じてインターネットへと、デジタルカメラの使用範囲は大きく広がっています。

この画像が通信に使用できるという利便性は、特に報道の世界で私達と大きく関わってきています。アトラクタ・オリンピックで有森裕子選手が両手を上げてテープを切っている写真を覚えていらっしゃる方も多いのではないのでしょうか。実はこの写真は140万画素のフジDS505というデジタルカメラで撮られたものだったのです。

デジタルカメラ特集



富士写真フィルムDS-20の高画質モードで撮影した画像。芝生などの緑色が鮮やかに再現されており、空と建物の境界部分のノイズも目立たない。めらかな画像だ。



夕方、しかも逆光という条件だが、富士写真フィルムDS-20のストロボで日中シンクロ撮影したところ。

デジタルカメラ撮影の注意点

基本的にはデジタルカメラも通常のカメラも撮影の方法は変わりませんが、画像をデジタルデータに変換するデジタルカメラには、やはり特有の細かな注意点がありません。

被写体に近づいて撮影する

通常のカメラの場合でも、被写体に近づいて撮影した方が迫力のある写真が得られます。しかしデジタルカメラの場合には、もう一つ、被写体に近づいた方がいい理由があります。100万画素以上の高画質デジタルカメラを別とすれば、現在普及している35万画素のデジタルカメラでは、あまり大きく引きのばすと画像が荒れて劣化してしまうため、プリントの仕上がりを考慮して、被写体をファインダーに大きく写した方がよいのです。また、デジタルカメラのほとんどが広角レンズを使用している点も配慮して、被写体に近づくと心がけましょう。

順光で撮影する

デジタルカメラは逆光や半逆光が苦手です。暗い部分から明るい部分に移る再現性の幅が狭いため、通常のカメラで用いられる逆光撮影のソフトな効果が期待できません。被写体のバックが明

る場合には、ストロボを発光させてカバーするようにしましょう。

被写体のバックは単純な場所を選ぶ

通常のカメラで撮影する場合、被写体の後ろがゴチャゴチャしている時には、バックをぼかすという方法を用いますが、デジタルカメラの場合、普及しているものの多くが広角レンズを採用しているため、ピントの合う範囲が広く、この方法は使うことができません。ですから、あらかじめ被写体のバックに配慮する必要があります。

またデジタルカメラは画像を圧縮して記録するので、あまり複雑な画像になると圧縮効率が悪くなり、画質が劣化する恐れがあります。バックはできるだけ単純にするように心がけましょう。

手ブレは禁物

通常のカメラでも手ブレは避けなければなりません。デジタルカメラの場合、手ブレはプリンターでプリントすると余計に目立ってしまいます。

特に液晶モニターをファインダーとして使用するタイプの場合、デジタルカメラを顔から離して撮影することが多く、手ブレが起きやすくなるので注意を要します。

デジタルカメラの仕様書の見方

デジタルカメラの仕様書には通常のカメラの仕様書にはない、特有の項目があります。ここでは特にわかりづらい項目について、その意味を説明いたしますので、デジタルカメラ購入の際の参考としてください。また27ページに今回紹介している機種の一覧を掲載していますので、合わせてご覧ください。

画素(ピクセル)

画像をデジタルデータに変換する際、その画像データの大きさを表す単位です。デジタルカメラが使用しているレンズの解像力などにも左右されるため、一概には言えませんが、この数値が大きければデータ密度が高くなり、引きのばしてプリントする場合でも劣化は少なく、また小さいサイズでプリントする場合には精度の高い画像となります。

dpi(ドット・パー・インチ、ドット)

dpiはドット・パー・インチの略で、たとえば300dpiと表記されていた場合、1インチの線に300のドットが並ぶという意味で、画像データの精度を表す単位です。画素が1画面を構成する単位であるのに対し、dpiは前述の通り1インチの単位ですから、同じ画素のデータでしたら、dpiの数値が高いものほど画像の精度は高くなり、細かなディテールを再現することができます。

記録枚数

通常カメラで使用するフィルムのコマ数と同じ意味ですが、デジタルカメラの場合、同じメモリーカードを使用しても、撮影したデータを保存する際の画像の圧縮の度合いによって枚数が変化します。通常は高画質、標準、ス

記録方式

一般的にはJPEG方式のフォーマットで記録するデジタルカメラが増えています。インターネットのホームページなどに使用できる場合は、この方式のままでも使用できますが、パソコンなどで画像データを加工する場合はフォーマットを変換します。パソコンのほとんどの画像処理ソフトがJPEG方式に対応しています。

記録媒体

デジタルカメラ本体の内蔵メモリーに記録するタイプと、メモリーカードやフロッピーディスクなど、外部のメディア(媒体)に記録するタイプがあります。また、内蔵メモリーと外部メディアの両方に対応している機種もあります。一般的には外部メディアに対応しているものの方が、撮影枚数が多い場合にも対応できますし、撮影した画像を手軽に持ち運べるので有利です。

デジタルカメラ特集



普及型デジタルカメラのパイオニア カシオ QV-11

- デジタルカメラ市場をリードするベストセラーモデル。
- 液晶デジタルカメラ同士での画像データ通信が可能。
- 再生時に4画面/9画面を一括表示するマルチ画面表示機能、再生時に見たい部分を2倍に拡大するクローズアップ機能を搭載。



カシオ QV-70

- ポケットに収まる小型・軽量ボディ。
- “QVデジタル”シリーズ初の光学ファインダーを採用。



各種機能を搭載 カシオ QV-700

- 連写やインターバル撮影、画像合成などの多彩な「撮影/画像編集機能」、レンズ部一体型「オートストロボ」、簡単操作の「ダイヤルキー」を搭載。
- シャッター前の3コマを撮影し、人物撮影時の思いがけないショットが狙えるPASTと、シャッターを押した瞬間から0.05秒間隔で4コマを連続撮影するFUTUREの2つのモードが選べます。シャッターを押し続けている間は1秒間隔で撮影します。

多彩な画像編集 カシオ QV-200

- タイトルやイラストの合成やモノクロ・セピア色の特殊効果、画像回転など、カメラ本体で多彩な画像編集ができます。
- 自由なアングルで撮影できる独自のレンズ部回転機構。



CASIO

EPSON



XGAクラス最高画質 エプソン CP-500

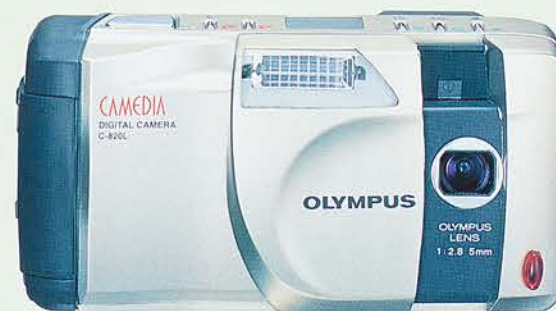
- 81万画素CCDでXGA(1024×768ピクセル)クラス最高画質を実現。
- 見やすい液晶コントロールパネルには、画質、撮影可能枚数、電池寿命など様々な情報を表示。

OLYMPUS



141万画素でも普及価格 オリンパス CAMEDIA C-1400L

- 超高精細141万画素原色プログレッシブCCD、高解像光学3倍ズームレンズ搭載。
- 一眼レフ方式の光学ファインダー、スポット測光、露出補正機能等、画質優先機能を多数搭載。
- 普及型デジタルカメラでは最高のSXGAクラスの超高画質。



ファンクションモード搭載 オリンパス CAMEDIA C-820L

- 普及型デジタルカメラで最高レベルの画質。しかも同画素クラスでは最小最軽量を実現。
- 世界初ファンクションモードに対応。
- 高性能ガラスレンズを5枚使用し、高解像度を実現。

Canon



多機能なストロボ キヤノン PowerShot 350

- 高精細正方35万画素CCDと43mmF2.8キャノンレンズ(35mmフィルム換算)を採用。
- プログラムAE、±4段の露出補正、赤目緩和機能付き内蔵ストロボを搭載。
- 最短3cmまでのマクロ撮影が可能。

SONY



MVC-FD7



MVC-FD5



撮る、入れる、開くの操作が簡単 ソニー MVC-FD7、MVC-FD5

- 3.5型MS-DOS(2HD)のフロッピーディスクを記録メディアに採用、特別なソフトやケーブルが必要なく、フロッピーでパソコンに入力できます。
- 画像データ汎用性の高いJPEG方式。

FUJIFILM



140万画素、6倍ズーム 富士写真フィルム DS-300

- デジタル一眼レフと同様の高画質プロスペック、業務にすぐに活用できるイージーオペレーション、様々なシステムに発展可能なマルチファンクション。
- 総画素140万画素(有効画素130万)、デジタルカメラ専用正画素CCD(RGB原色フィルター)を採用。彩度の高い被写体や難しいグレーのトーンも忠実に再現します。
- レンズはマルチコート処理を施した「スーパー-EBCフジノンレンズ」を採用。しかもデジタルファイン6倍ズームを採用して高い機動性を発揮します。
- マクロ撮影モード搭載。光学3倍、デジタル2倍処理(640×480モード使用時)。



液晶モニターとオートストロボ搭載 富士写真フィルム CLIP-IT DS-20

- 超小型・超薄型スマートメディアを採用。
- 内蔵ストロボにより様々な場面での高画質な撮影が可能となります。
- 業界標準の画像フォーマットJPEG(EXIF)を採用。

デジタルカメラ特集

品名	CAMEDIA C-1400L	CAMEDIA C-820L	QV-700	QV-200	QV-70	QV-11
社名	オリンパス光学工業(株)	オリンパス光学工業(株)	カシオ計算機(株)	カシオ計算機(株)	カシオ計算機(株)	カシオ計算機(株)
メーカー希望小売価格	128,000円	84,800円	75,000円	50,000円	38,000円	38,000円
画素数(万画素)	141	81	35	36	25	25
液晶モニター	1.8インチTFT	2インチTFT	2.5インチTFT	ファインダー兼用1.8型TFT	ファインダー兼用1.8型TFT	1.8インチTFT
光学式ファインダーの有無		有	無	無	無	
記録媒体	3.3Vスマートメディア(2MB, 4MB, 8MB)	3.3Vスマートメディア(2MB, 4MB, 8MB)	フラッシュメモリーカード 2MB	内蔵フラッシュメモリー4MB	内蔵フラッシュメモリー2MB	内蔵フラッシュメモリー2MB
記録方式	JPEGベースライン準拠	JPEG方式		JPEGベース	JPEGベース/フィールド記録	デジタル記録(JPEGベース)/フィールド記録
記録枚数	標準49枚、精細12枚、高画質4枚/2MB	標準30枚、高画質(1)10枚、高画質(2)4枚/2MB	FINE14枚、NORMAL26枚、ECONOMY47枚	FINE64枚、NORMAL192枚	96枚	96枚
レンズ	f9.2~28mm F2.8~3.9	f5mm F2.8	f3.94mm F2	f3.9mm F2~8	f5.2mm F2.8	f5.2mm F2.8
撮影距離	約0.6m~∞(マクロ0.3~0.6m)	約0.7m~∞(マクロ0.2~0.7m)	0.7m~∞(マクロ14~16cm)	0.24m~∞(マクロ9~23cm)	0.4m~∞(マクロ10~18cm)	28cm~∞(マクロ10~24cm)
ストロボの有無	有(強制発光など各種モード付き)	有(強制発光など各種モード付き)	有(各種機能付き)	無	無	無
ビデオ出力	不可	ビデオ出力端子付き	ビデオ出力端子付き	ビデオ出力端子付き	ビデオ出力端子付き	ビデオ出力端子付き
電源	各種単三電池	各種単三電池	各種単三電池	各種単三電池・ACアダプター	各種単三電池	各種単三電池・ACアダプター
外形寸法/重量	115x130x83mm(WxDxH)/470g	128x45x65mm(WxDxH)/約265g	147x69x50mm(WxDxH)/約290g	141x40x66mm(WxDxH)/約190g	103x34x66mm(WxDxH)/約150g	130x40x66mm(WxDxH)/170g

品名	MD-PS1	PowerShot 350	CP-500	COOLPIX300	MVC-FD5	MVC-FD7
社名	シャープ(株)	キヤノン(株)	エプソン販売(株)	(株)ニコン	ソニー(株)	ソニー(株)
メーカー希望小売価格	129,000円	69,800円	89,800円	84,000円	63,000円	88,000円
画素数(万画素)	35	35	81	33	約41	約41
液晶モニター	2.5型	1.8インチ	2インチTFT	2.5型TFT	2.5型TFT	2.5型TFT
光学式ファインダーの有無	有	無	有	有	無	無
記録媒体	MDのデータディスク(140MB)	フラッシュメモリー	フラッシュ内蔵+メモリーカード	4MB内蔵フラッシュメモリー	3.5型フロッピーディスク(2HD)	3.5型フロッピーディスク(2HD)
記録方式	JPEG準拠	JPEG方式	JPEG方式	JPEG方式	JPEG方式	JPEG方式
記録枚数	標準2,000枚、高画質約1,000枚	ファイン11枚、ノーマル23枚、Eコマニ47枚	標準50枚、精細16枚、高画質7枚	標準132枚、高画質66枚	スタンダード最大40枚、ファイン最大20枚	スタンダード最大40枚、ファイン最大20枚
レンズ	f6mm F4.0, f12mm F5.6	f6mm F2.8	f5mm F2.8	f6.2mm F4.0	f48mm F2.0	f4.2~42mm F1.8~2.9, 10倍ズーム
撮影距離	45cm~∞ マクロ20~24cm	3cm~∞	50cm~∞(マクロ撮影時20~50cm)	65cm~∞ マクロ14~23cm	0.7m~∞(マクロ0.08~0.25m)	1cm~∞
ストロボの有無	有(各種機能付き)	有(各種機能付き)	有(撮影範囲:0.2~2.4m)	有(各種機能付き)	有(各種機能付き)	有(各種機能付き)
ビデオ出力	ビデオ出力端子付き	ビデオ出力端子付き	ビデオ出力(NTSC)	ビデオ出力端子付き	不可	不可
電源	ニッケル水素充電電池/ACアダプター	単三、専用Ni-Cd, ACアダプター	各種単三電池・ACアダプター	単三アルカリ/外部電源(7V, 1.4A)	DC7.2V インフォリチウムバッテリー	DC7.2V インフォリチウムバッテリー
外形寸法/重量	120x51x111mm(WxDxH)/約550g	93x51.3x94mm(WxDxH)/約290g	143x49x70mm(WxDxH)/280g	78x34.5x150.5mm(WxDxH)/約240g	126.5x62.5x110.5mm(WxDxH)/470g	126.5x73.3x110.5mm(WxDxH)/600g

品名	Dimage V	CLIP-IT DS-20	DS-300	DC-3	COOL SHOT	COOL SHOT II
社名	ミノルタ(株)	富士写真フイルム(株)	富士写真フイルム(株)	(株)リコー	松下電器産業(株)	松下電器産業(株)
メーカー希望小売価格	79,800円	63,000円	248,000円	49,800円	49,800円	64,800円
画素数(万画素)	35	35	140	35	36	35
液晶モニター	1.8インチ	1.8インチ	別売	1.8インチTFT	1.8型TFT	1.8型カラーTFT
光学式ファインダーの有無	無	有	有	無	有	無
記録媒体	スマートメディア(2MB, 4MB)	イメージメモリーカード(スマートメディア)	PCMCIA Release2.1準拠PCカード	内蔵フラッシュメモリーカード・4MB相当	コンパクトメモリーカード2MB	内蔵フラッシュメモリー2MB
記録方式	JPEG準拠(Exif)	JPEG準拠(Exif)	JPEG(Exif), TIFF-YC(Exif)	JPEG準拠	JPEG準拠	JPEG準拠
記録枚数	標準約40枚、高画質約16枚(2MB)	Fine22枚、Normal30枚(2MB)	H8枚、Fine30枚、Normal62枚、Basic121枚	ファイン25枚、ノーマル50枚、Eコマニ100枚	ファインモード24枚、ノーマル96枚	スーパーファイン16枚、ファイン32枚、ノーマル94枚
レンズ	f4.8~13mm F5~5.6 2.7倍ズーム	f5.7mm F3.1	f9~27mm F3.5~1.1 3倍ズーム	f4mm F3.8	f5.2mm F2.8	f5.7mm F3.8
撮影距離	約30cm~∞ マクロ約6cm	50cm~∞ マクロ9~13cm	20cm~∞	約60cm~∞ マクロ約1~60cm	50cm~∞ マクロ約13~15cm	70cm~∞ マクロ約8cm
ストロボの有無	有(各種機能付き)	有(各種機能付き)	有(各種機能付き)	有(各種機能付き)	無	無
ビデオ出力	不可(別売オプションで可)	ビデオ出力端子付き	RCAピン付き	ビデオ出力端子付き	ビデオ出力端子付き	可(NTSC)
電源	各種単三電池・ACアダプター	各種単三電池・ACアダプター	リチウムイオンバッテリーNP-510	各種単三電池・ACアダプター	単三アルカリ・ACアダプター	単三アルカリ・ACアダプター
外形寸法/重量	131x71x71.5mm(WxDxH)/約250g	128x46x70mm(WxDxH)/約250g	153x78x96mm(WxDxH)/約620g	125.8x72.6x34mm(WxDxH)/約230g	25x69x134mm(WxDxH)/約140g	90x32x60mm(WxDxH)/約158g

※外形寸法:突起物を含みません。重量: *印のある機種は電池を含みます。印のない機種は電池やカードを含みません。

Nikon



画像プラスメモ・音声も魅力 ニコン COOLPIX300

■入力ペン(スタイラスペン)を使った対話式オペレーションが可能な2.5型TFT液晶カラーモニターを搭載。
■画像入力(撮影)に加え、メモ書き、音声録音の機能を備えてマルチ記録に対応。



Panasonic

パナソニック COOL SHOT

■厚さ21mmの薄型・軽量・コンパクト設計(突起部を除く)。
■付属のコンパクトメモリーカードに96枚(ノーマルモード)の撮影が可能。
■13cmの接写ができるマクロ機能を搭載。
■色調整・輝度調整・エッジ強調等の簡易編集ソフトが付属。



持ち歩きに便利なスマートな本体 リコー DC-3

■フラットデザインの高画質デジタルカメラ。ボタンなどの突起物がないので、ポケットやバッグにすっきり収まり、取り出す時もスムーズ。
■リコー独自の高屈折率/低分散ガラスレンズの採用により、約1cmまでのマクロ撮影が可能。超クローズアップ撮影ができます。

SHARP

MDデータカメラが新登場 シャープ MD-PS1

■写真に音がついて見ながら聴け、MD1枚で2000ショット撮れます。
■最短20秒、最高24時間間隔で自動的にシャッターを切るインターバル撮影が可能。
■消去、複写、コメント入力など、本体内で画像を編集。アルバムや日付などテーマ別に分類・検索。シームレス合成や高画質合成ができるユーティリティソフトが付属。



MINOLTA

レンズを着脱できるデジタルカメラ ミノルタ Dimage V

■2.7倍ズームレンズ搭載。レンズユニットは脱着可能。ケーブルで本体と接続され、回転が自在で思いのままの撮影ができます。
■マクロ機能、フラッシュ機能搭載。
■超小型記憶媒体スマートメディアを採用。



モニター付きで 世界最小の デジタルカメラ パナソニック COOL SHOT II

■ワイシャツの胸ポケットにも入る世界最小のコンパクトサイズで、液晶モニター内蔵。
■1/4インチCCD(35万画素)の採用で、パソコンにVGA画像(640x480画素)を取り込むことができます。
■逆光時などには露出の自動補正が可能。

RICOH

イクシを着よう。もっと。

映像と音響のワンダーランドへ
Canon



あのイクシに、
小さく軽く価格もライトな
「310」が仲間入り。

持っているのを忘れて
しまいそうなほど、軽くてスリム。
イクシ「310」は、スタイリッシュな
カードサイズボディに、きれいに写す機能を
パッケージしたAPS対応カメラです。
アクセサリのように身につける。胸ポケットにも
スッキリおさまる。いつでもどこでも、
ライトなイクシで、思うぞんぶん写真を
楽しんでください。



NEW
カードサイズカメラ
Canon
IXY
310
メーカー希望小売価格 ¥37,000
(ケース付、税別)

カタログをお送りいたします。ご請求は、〒108-11 東京都港区三田3-12-15
東急三田ビル キヤノン販売株式会社 IXY 310 係まで、ハガキでお気軽に
お申し込みください。 キヤノン株式会社・キヤノン販売株式会社



読者のページ

フォトライフ四季 ふれあい広場

読者の皆様から寄せられた、お便り＆お写真をご紹介します。

フォトコーナー●●●●

中国の敦煌へ行った時に乗ったらくだです。らくだだつてとつても疲れます。あまり疲れて顔が曲がってしまいました。
高橋真己様 山形県南陽市



優貴ちゃんね、お母さん手づくりのゼリーやプリンに目がななつちやっした。優貴子・2才8か月の日記より
光嶋美佐子様 岡山県津山市

お便りコーナー●●●●

「写友缶」だった頃の創刊号から拝見していますが、号を増す毎に内容が充実し、写欲も湧いてきます。今回は冬号ということで、タイムリーな雪景色を送りました。大河ドラマ「毛利元就」ゆかりの地「西の京・山口」の、周防大内文化における最高傑作「瑠璃光寺・五重塔」です。雪景色は格別で、雪舟の山水画を彷彿とさせます。池は凍り、積雪も50cmの日に苦勞して撮った一枚です。ペットや子供の写真も楽しくていいと思いますが、この冊子のタイトルを活かし、四季の風情も愛読者に味わっていただきたいのです。
広田和夫様 山口県宇部市



「フォトライフ四季」をいつも楽しみに拝見しています。子供が生まれてから写真を撮る機会が増え、私なりに楽しんでます。我が子のスナップも、「親にしか撮ることのできないタイミングや表情、自然な姿をとらえたい…」そう思いながらちょっとした瞬間にシャッターを押しています。このスナップは題して「少女A」。おにぎりのノリで遊んでいたところをパチリ。真美(5才)・美美(3才)のスナップです。
山口京子様 熊本県菊池市

お便り＆傑作写真大募集!

このコーナーでは、皆様からの楽しいお便りや、傑作写真にコメントを添えた投稿を募集しています。掲載させていただいた方には粗品を進呈いたします。ハガキ・封書での送り先は、〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-4-1 カメラのキタムラ広報室「フォトライフ四季ふれあい広場」係まで。お便りは、ファックス番号 045-476-0778でも受け付けております。また、お近くの「カメラのキタムラ」に直接お持ちいただいても結構ですので、読者の皆様からのたくさんのご応募をお待ちしています。(なお、応募作品の返却はいたしかねますのでご了承ください。)

※このコーナーに多数のご応募をいただき、ありがとうございました。今回はすべてのお便り・お写真をご紹介できませんでしたことをご承知ください。

粗品進呈!
どしどしご応募ください!

トピックス カメラのキタムラ主催「スタジオ・ポートレート水着撮影会」開催

さる7月13日(日)、カメラのキタムラ佐賀南部バイパス店の主催による「スタジオ・ポートレート水着撮影会」が開催されました。撮影会は午前と午後の2回にわたり、計60名の地元アマチュアカメラマンの皆さんが、カナダ人のモデル・ジョディーンさんの水着姿を撮影。コンテストの結果、熊本県玉名郡にお住いの下野順二さんの作品が最優秀賞に選ばれました。



最優秀賞受賞の下野順二さん(右)

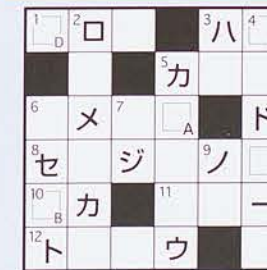


撮影会風景

編集後記

ここ数年の間に世の中はどんどんデジタル化の方向へと進み、一般家庭でもコンピュータはあたり前の時代になりつつあります。そこで今回の保存版特集では、話題の「デジタルカメラ」を取り上げてみました。今までは何となく「カメラ」も「コンピュータ」もそれぞれ専門的な趣味の分野というイメージがありましたが、これからはそんな境界線もどんどんなくなり、カメラもコンピュータも気軽に使いこなす人々が増えてくるのではないのでしょうか。読者の皆さんも、デジタルカメラならではの活用アイデアなどがございましたら、ぜひ紹介させていただきたいと思っております。お便りをお寄せください。
【おわび】前号の「キタムラがお薦める“秋の彩”撮影ポイント」でマップ内の撮影ポイントの位置に、また「新・メーカー探訪」では製品写真の裏表に、それぞれ一部誤りがございました。読者の皆様、及び関係者の皆様にご迷惑をおかけいたしましたことを深くおわびいたします。

プレゼントが当たる! クロスワードパズル



- 〈ヨコのカギ〉
1. 昔、戦いの時などに合図として上げた煙。
3. 「地味」の反対は?
5. 熱を加えることです。
6. TVや映画で、カメラ映りをチェックしながら行なうリハーサル。
8. 1月15日は何の日?
10. 刀や弓などの握る部分をこういいます。
11. 冬の代表的なスポーツといえはやっぱりコレでしょう。
12. 昔、シルクロードの貿易拠点だった中国の都市。映画にもなりました。
- 〈タテのカギ〉
2. 明治時代、舞踏会などが開かれた洋風の社交場。
3. 昔ながらのお正月の遊びのひとつ「○○つき」。
4. 激しく競り合うことを英語でこういいます。
5. 多数決で決事を決めるには○○○○○の賛成が必要。
6. MDが発売されるまでは、録音テープといえはほとんどコレでした。
7. 団体の代表者の役職名。
9. 屋根から家の外側に張り出した部分。「○○を連ねる」といいます。

答え=○○○○○ 問題: クロスワードに答えて、A~Eのマスの子をつなぐとある言葉になります。その答えとあなたの住所・氏名・年齢・職業をハガキに書いてご応募ください。正解者の中から抽選で30名の方に、粗品を進呈いたします。あて先: 〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-4-1 カメラのキタムラ「フォトライフ四季 クロスワードパズル」係 締め切り: 2月28日(当日消印有効)

クロスワードパズル(Vol.21) 解答とご当選者 解答:「ナツヤスミ」
阿部香(北海道)、吉原利博(北海道)、伊藤光洋(岩手県)、高橋由紀子(宮城県)、田巻順子(新潟県)、佐野寛子(富山県)、坪内邦和(富山県)、数田親次(埼玉県)、荒木信幸(神奈川県)、岸本ふみ(東京都)、谷川祐孝(東京都)、内山静夫(静岡県)、西村和代(三重県)、荒金俊博(大阪府)、竹村豊春(奈良県)、一坪光恵(兵庫県)、京黒信昌(岡山県)、小川真理子(広島県)、谷本哲也(鳥取県)、運崎清貴(鳥取県)、田村桂子(山口県)、岡田百合子(山口県)、篠原由美(香川県)、宮本律子(香川県)、岸田敏郎(徳島県)、長田洋子(高知県)、三好義一(愛媛県)、村上秀之(宮崎県)、山本照代(熊本県)、村瀬南海子(沖縄県) 敬称略

このカードが、
カメラを変える。

世界最小3倍ズーム*、エピオン・カードマン、誕生。

EPiON CARDMAN

一枚三役のマルチ・ファンクション・カード。

① 液晶パネルになる

撮影時にカードをカメラ後部に装着。
フィルムカウンター、撮影モード指標などを表示します。

② 多機能リモコンになる

離れた場所からもさまざまな操作が可能。
シャッターチャンスも思いのまま。

③ レンズ・プロテクターになる

ふたん持ち歩くときに、カードをカメラ前面に装着すれば、
大切なレンズやストロボなどをカバー。

●MRC(フィルム途中交換)機能搭載。

- 1台のカメラで、一人一人が自分専用のフィルムで撮影できる。
- 1台のカメラで、好きなテーマごとに撮り分けできる。



●自信の高画質、世界最小3倍ズーム*。

- スーパーEBCフジノン3倍ズーム・レンズ(21~58mm)搭載。
- 富士フィルム独自のデジタルプログラム(DP)ズームストロボ採用。



●APSだから、簡単・楽しい・便利。

- インデックスプリントで写真の整理や焼き増しも簡単。
- フィルム装てんも途中交換も、簡単・確実・失敗なし。

EPiON 3500 MRC

メーカー希望小売価格 56,000円(税別)
*21~58mm(2.8倍)を3倍ズームと称しています。*3倍ズーム比較(H9/11現在)

●セレクトタイトル ●プリント枚数指定 ●赤目軽減モード ●日中ストロボモード ●ストロボOFFモード ●夜景ポートレート(スローシンクロ)モード ●オール高品位アルミ合金ボディ ●大きさ・重さ 98.5×57.2×29mm(MFカードなし、但しグリップ部36mm) 180g(電池別)

フジフイルム 四季 Vol.23 WINTER 平成9年12月1日発行 季刊第23号 千 222 0033 横浜市中区新横浜2-4-1 ☎ 045-4760777